

コマツ
2019年度 第3四半期(4月-12月)
決算説明会
【電話会議】

2020年1月31日(金)

コマツ出席者

執行役員CFO
執行役員経営管理部長

堀越 健
今吉 琢也

I. 2019年度 第3四半期(4月-12月)決算の概要 <P3-P13>

- P4-P6 : 2019年度第3四半期(10-12月)の概況
- P7-P8 : 2019年度第3四半期(4-12月)の概況
- P9-P10 : <建設機械・車両> 2019年度第3四半期(4-12月)の状況
- P11 : <リテールファイナンス> 2019年度第3四半期(4-12月)の状況
- P12 : <産業機械他> 2019年度第3四半期(4-12月)の状況
- P13 : 連結貸借対照表

II. 2019年度の見通し <P14-P24>

- P15 : 2019年度の見通し
- P16-P21 : <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し(全体及び地域別)
- P22-P23 : <建設機械・車両> 鉱山機械の需要・売上高の見通し
- P24 : <建設機械・車両> 部品の売上高の見通し

参考資料 <P25-P33>

- P26-P30 : 四半期毎の状況
- P31-P33 : BBレシオ〔受注/売上指数(6ヶ月)〕

I . 2019年度第3四半期(4月-12月)決算の概要

- ・ 連結売上高は前年同期比▲12.4%減収の6,139億円。
- ・ 営業利益は前年同期比▲31.1%減益の658億円、売上高営業利益率は▲2.9ポイント減の10.7%。
- ・ 純利益は前年同期比▲23.1%減益の452億円。

金額単位：億円	2018年10-12月	2019年10-12月	前年同期比	
	¥113.5/USD ¥129.6/EUR ¥16.4/RMB	¥108.6/USD ¥119.7/EUR ¥15.4/RMB	増減	増減率
連結売上高	7,005	6,139	▲ 866	▲12.4%
セグメント利益	971	635	▲ 335	▲34.6%
その他の営業収益(▲費用)	▲ 16	22	+39	-
営業利益	955	658	▲ 296	▲31.1%
売上高営業利益率	13.6%	10.7%	▲ 2.9ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲ 100	▲ 41	+59	-
税引前純利益	854	617	▲ 237	▲27.8%
当社株主に帰属する当期純利益	588	452	▲ 136	▲23.1%

KOMATSU 2019年度 第3四半期(10-12月)の各セグメント売上高と利益

5

- ・建設機械・車両部門の売上高は前年同期比▲15.3%減収の5,464億円。セグメント利益は前年同期比▲40.2%減益の530億円。セグメント利益率は▲4.0ポイント悪化し9.7%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は前年同期比+8.3%増収の181億円。セグメント利益は前年同期比+15.6%増益の40億円。
- ・産業機械他部門の売上高は前年同期比+16.6%増収の532億円。セグメント利益は前年同期比+8.3%増益の55億円。

□ % : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2018年10-12月		2019年10-12月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	7,005		6,139		▲ 866		▲ 12.4%	
建設機械・車両	(6,403)	6,453	(5,451)	5,464	(▲ 952)	▲ 988	(▲ 14.9%)	▲ 15.3%
リテールファイナンス	(151)	167	(160)	181	(+9)	+13	(+6.1%)	+8.3%
産業機械他	(450)	457	(527)	532	(+77)	+75	(+17.1%)	+16.6%
消去	▲ 71		▲ 38		+33		-	
セグメント利益	□ 13.9%	971	□ 10.4%	635	□ ▲ 3.5ポイント	▲ 335	▲ 34.6%	
建設機械・車両	□ 13.7%	886	□ 9.7%	530	□ ▲ 4.0ポイント	▲ 355	▲ 40.2%	
リテールファイナンス	□ 21.1%	35	□ 22.6%	40	□ +1.5ポイント	+5	+15.6%	
産業機械他	□ 11.3%	51	□ 10.5%	55	□ ▲ 0.8ポイント	+4	+8.3%	
消去または全社	▲ 1		8		+10		-	

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

物量減及び為替差のマイナス影響により減収、物量減及び地域構成差等により減益。

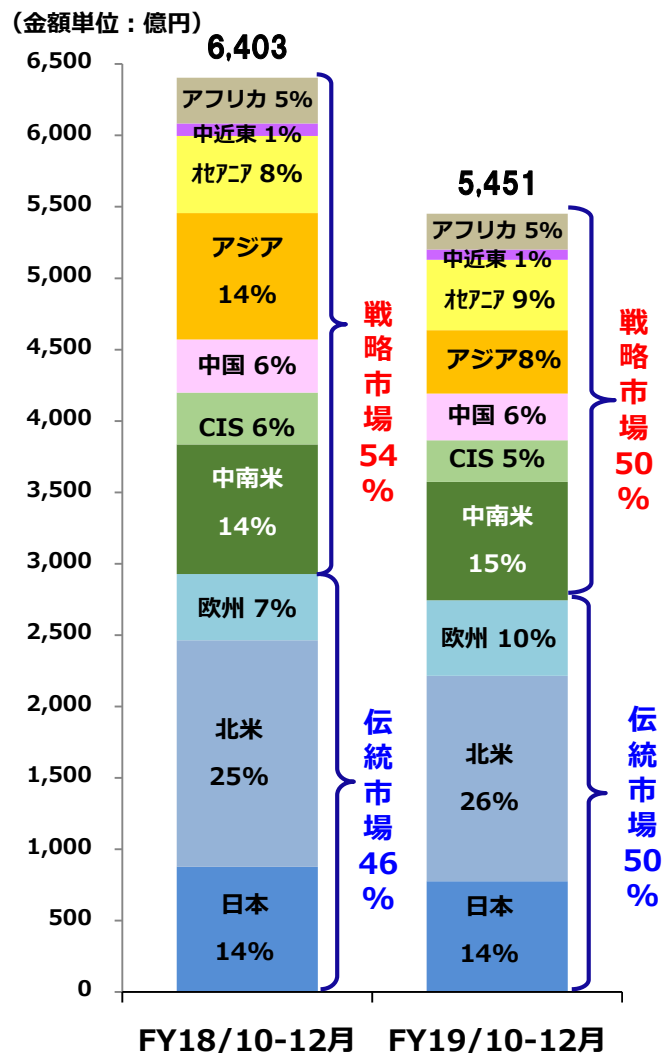
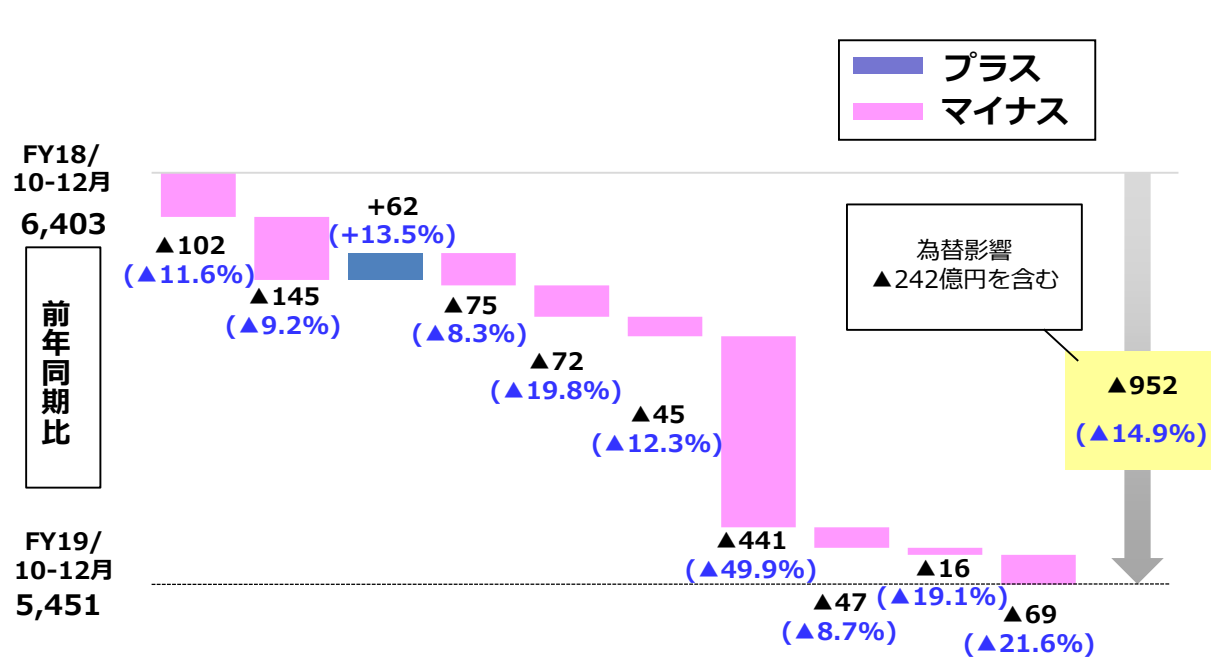
■ リテールファイナンス

平均資産残高の増加により増収増益。

■ 産業機械他

工作機械の売上増等により増収増益。

- 外部顧客向け売上高は前年同期比▲14.9%減収の5,451億円。
- 欧州で増加した一方、アジア、北米、日本などでの減少が大きく、売上高は減少。
- 伝統市場の比率は50%に上昇。



(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
FY18/10-12月	876	1,586	464	906	363	372	884	540	87	319	6,403
FY19/10-12月	774	1,440	527	831	291	327	442	493	71	250	5,451
増減	▲102	▲145	+62	▲75	▲72	▲45	▲441	▲47	▲16	▲69	▲952

伝統市場

戦略市場

※ 為替影響を除くベースでプラスの地域

- ・ 連結売上高は前年同期比▲9.5%減収の1兆8,274億円。
- ・ 営業利益は前年同期比▲29.7%減益の2,078億円、売上高営業利益率は▲3.3ポイント減の11.4%。
- ・ 純利益は前年同期比▲26.6%減益の1,352億円。

金額単位：億円	2018年4-12月 ¥111.0/USD ¥129.8/EUR ¥16.6/RMB	2019年4-12月 ¥108.9/USD ¥121.0/EUR ¥15.7/RMB	前年同期比	
			増減	増減率
連結売上高	20,186	18,274	▲ 1,911	▲9.5%
セグメント利益	2,962	2,042	▲ 920	▲31.1%
その他の営業収益	▲ 4	35	+40	-
営業利益	2,958	2,078	▲ 880	▲29.7%
売上高営業利益率	14.7%	11.4%	▲ 3.3ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲ 178	▲ 179	▲ 0	-
税引前純利益	2,779	1,899	▲ 880	▲31.7%
当社株主に帰属する当期純利益	1,841	1,352	▲ 489	▲26.6%

KOMATSU 2019年度 第3四半期(4-12月)の各セグメント売上高と利益

8

- ・建設機械・車両部門の売上高は前年同期比▲10.2%減収の1兆6,580億円。セグメント利益は前年同期比▲32.9%減益の1,828億円。セグメント利益率は▲3.8ポイント悪化し11.0%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は前年同期比+14.6%増収の529億円。セグメント利益は前年同期比▲16.9%減益の108億円。
- ・産業機械他部門の売上高は前年同期比▲11.0%減収の1,270億円。セグメント利益は前年同期比▲24.0%減益の96億円。

□ % : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2018年4-12月		2019年4-12月		前年同期比	
					増減	増減率
売上高		20,186		18,274	▲ 1,911	▲ 9.5%
建設機械・車両	(18,355)	18,458	(16,544)	16,580	(▲ 1,811) ▲ 1,878	(▲ 9.9%) ▲ 10.2%
リテールファイナンス	(417)	461	(472)	529	(+54) +67	(+13.0%) +14.6%
産業機械他	(1,412)	1,427	(1,257)	1,270	(▲ 154) ▲ 157	(▲ 11.0%) ▲ 11.0%
消去		▲ 162		▲ 105	+56	-
セグメント利益	□ 14.7%	2,962	□ 11.2%	2,042	□ ▲ 3.5ポイント ▲ 920	▲ 31.1%
建設機械・車両	□ 14.8%	2,725	□ 11.0%	1,828	□ ▲ 3.8ポイント ▲ 896	▲ 32.9%
リテールファイナンス	□ 28.4%	131	□ 20.6%	108	□ ▲ 7.8ポイント ▲ 22	▲ 16.9%
産業機械他	□ 8.9%	126	□ 7.6%	96	□ ▲ 1.3ポイント ▲ 30	▲ 24.0%
消去または全社		▲ 20		8	+29	-

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

物量減及び為替差のマイナス影響により減収、物量減及び地域構成差等により減益。

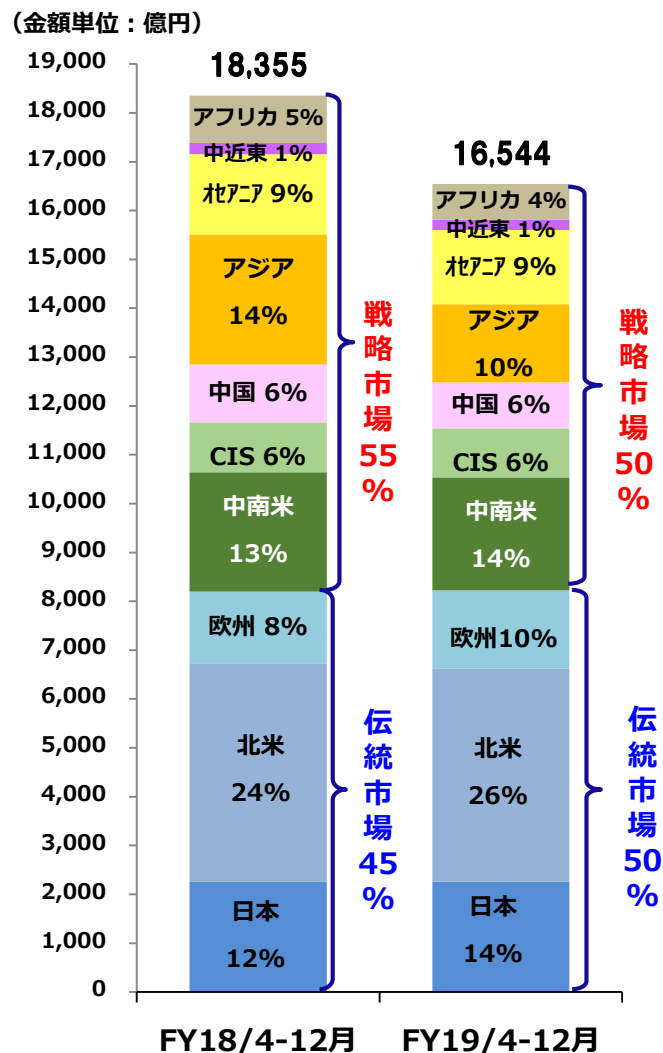
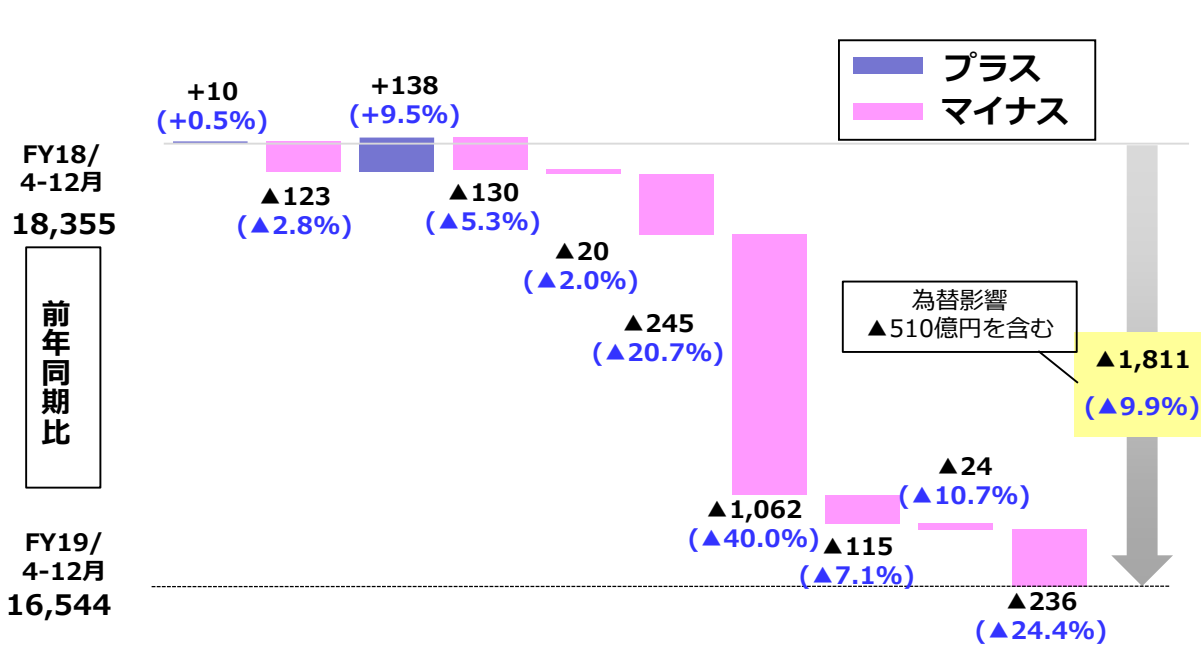
■ リテールファイナンス

平均資産残高の増加により増収。前年同期の中国での債権回収に関する引当金戻し益がなくなったこともあり減益。

■ 産業機械他

自動車業界向け鍛圧機械及び工作機械の販売減に加え、半導体市場向けエキシマレーザー関連製品の販売減に伴い減収減益。

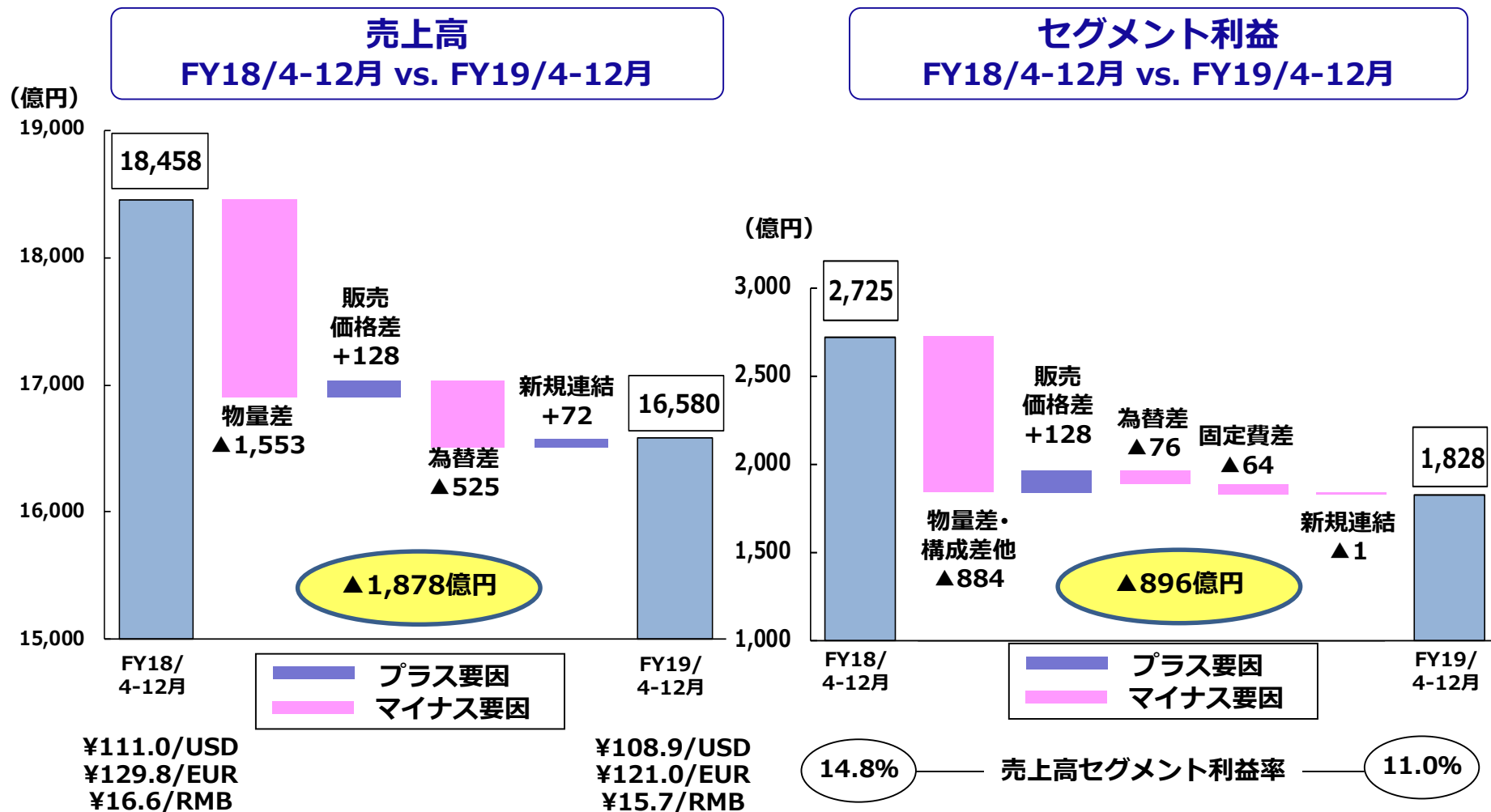
- 外部顧客向け売上高は前年同期比▲9.9%減収の1兆6,544億円。
- 欧州、日本で増加した一方、アジア、中国、アフリカなどでの減少が大きく、売上高は減少。
- 伝統市場の比率は50%に上昇。



(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
FY18/4-12	2,251	4,478	1,466	2,448	1,020	1,187	2,660	1,640	232	970	18,355
FY19/4-12	2,262	4,354	1,604	2,317	999	941	1,597	1,524	207	734	16,544
増減	+10	▲123	+138	▲130	▲20	▲245	▲1,062	▲115	▲24	▲236	▲1,811

※ 為替影響を除くベースでプラスの地域

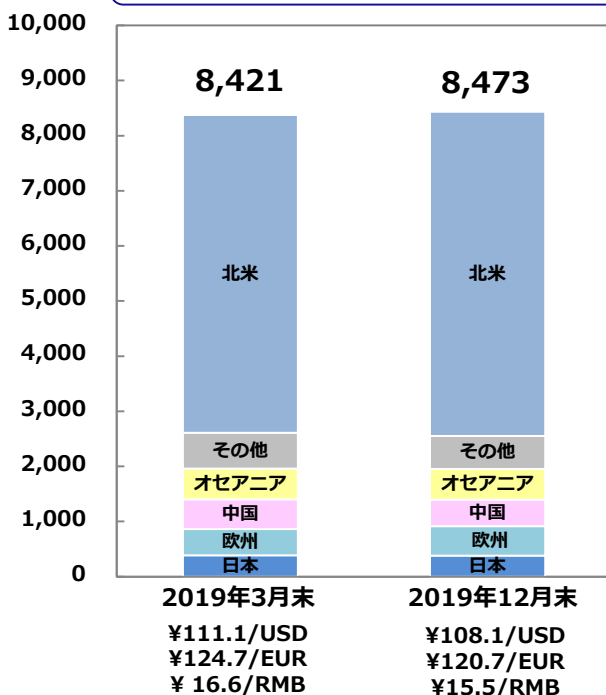
- ・売上高は、物量の減少および為替のマイナス影響により、前年同期比▲1,878億円の減収。
- ・セグメント利益は、物量減および地域構成の悪化等により、前年同期比▲896億円の減益。
- ・売上高セグメント利益率は前年同期比▲3.8ポイント減の11.0%。



- ・資産は主に北米・欧州での資産増により前年度末比増加。
- ・新規取組高は北米・中国・オセアニア等で、前年同期比減少。
- ・売上高は平均資産残高の増加等により、前年同期比増収。
- ・セグメント利益は前年同期の中国での債権回収に関する引当金戻し益がなくなったこともあり、前年同期比減益。

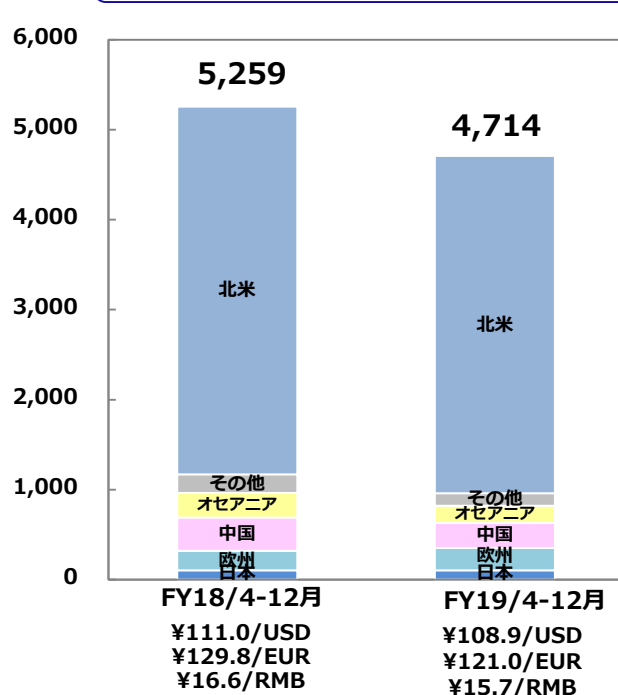
資産

2019年3月末 vs. 2019年12月末



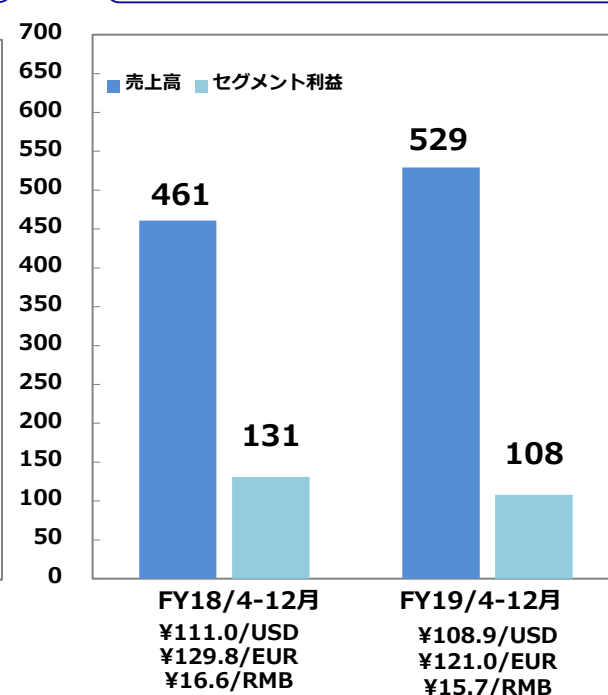
新規取組高

FY18/4-12月 vs. FY19/4-12月



収益

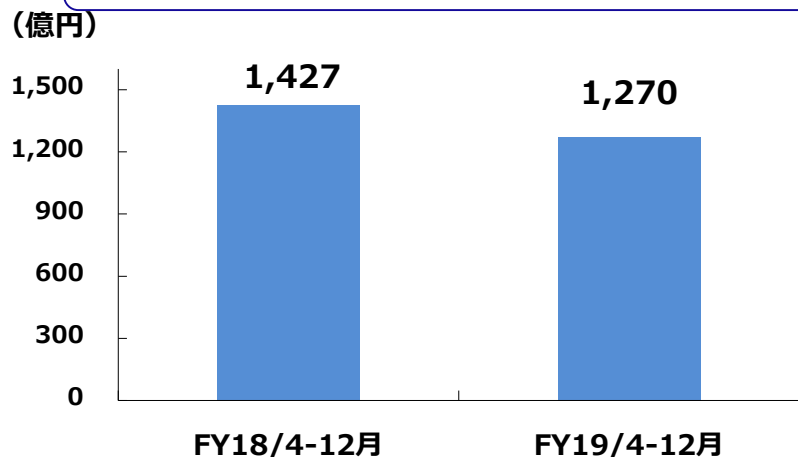
FY18/4-12月 vs. FY19/4-12月



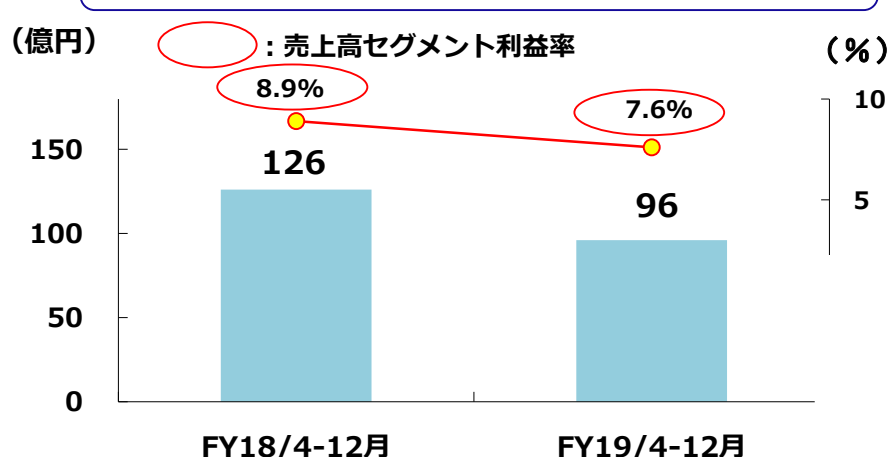
金額単位：億円	2019/3E	2019/12E	2019/3E比
借入金	6,380	6,517	+137
ネットベースの借入金	6,340	6,498	+158
ネットD/Eレシオ	3.64	3.76	+0.12ポイント

- ・売上高は自動車業界向けの鍛圧機械及び工作機械の販売減少に加え、半導体市場向けエキシマレーザー関連製品の販売減少により前年同期比▲11.0%減収の1,270億円。
- ・売上高セグメント利益率は7.6%。

売上高 FY18/4-12月 vs. FY19/4-12月



セグメント利益 FY18/4-12月 vs. FY19/4-12月



売上高の内訳

(億円)	FY18/ 4-12月	FY19/ 4-12月	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機	409	367	▲41	▲10.2%
コマツNTC	469	354	▲114	▲24.5%
ギガフォトン	316	274	▲42	▲13.3%
その他	231	273	+41	+17.8%
合計	1,427	1,270	▲157	▲11.0%

- ・総資産は棚卸資産、その他資産等で増加し、前年度末比+910億円増加の3兆7,292億円。
- ・株主資本比率は前年度末比▲1.5ポイント減の48.4%。

金額単位：億円 ○：ネットD/Eレシオ	2019年3月末 ¥111.1/USD ¥124.7/EUR ¥16.6/RMB	2019年12月末 ¥108.1/USD ¥120.7/EUR ¥15.5/RMB	増減
現金・預金（含む定期預金） [a]	1,508	1,854	+346
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	12,585	11,950	▲ 635
棚卸資産	8,375	9,000	+624
有形固定資産	7,764	7,670	▲ 94
その他資産	6,148	※ 6,816	+667
資産合計	36,382	37,292	+910
支払手形・買掛金	2,669	2,296	▲ 373
借入金・社債 [b]	9,307	10,483	+1,176
その他負債	5,377	※ 5,605	+228
負債合計	17,353	18,384	+1,031
（株主資本比率）	（49.9%）	（48.4%）	（▲1.5ポイント）
株主資本	18,155	18,036	▲ 119
非支配持分	872	870	▲ 1
負債及び純資産合計	36,382	37,292	+910
ネットベースの借入金・社債 [b-a]	○0.43 7,798	○0.48 8,628	+829
ネットD/Eレシオ（リテールファイナンス会社を除いた場合）	○0.09	○0.13	

※ 新会計基準適用によりオペレーティングリース使用权資産およびオペレーティングリース負債が前年度末比、約490億円増加。

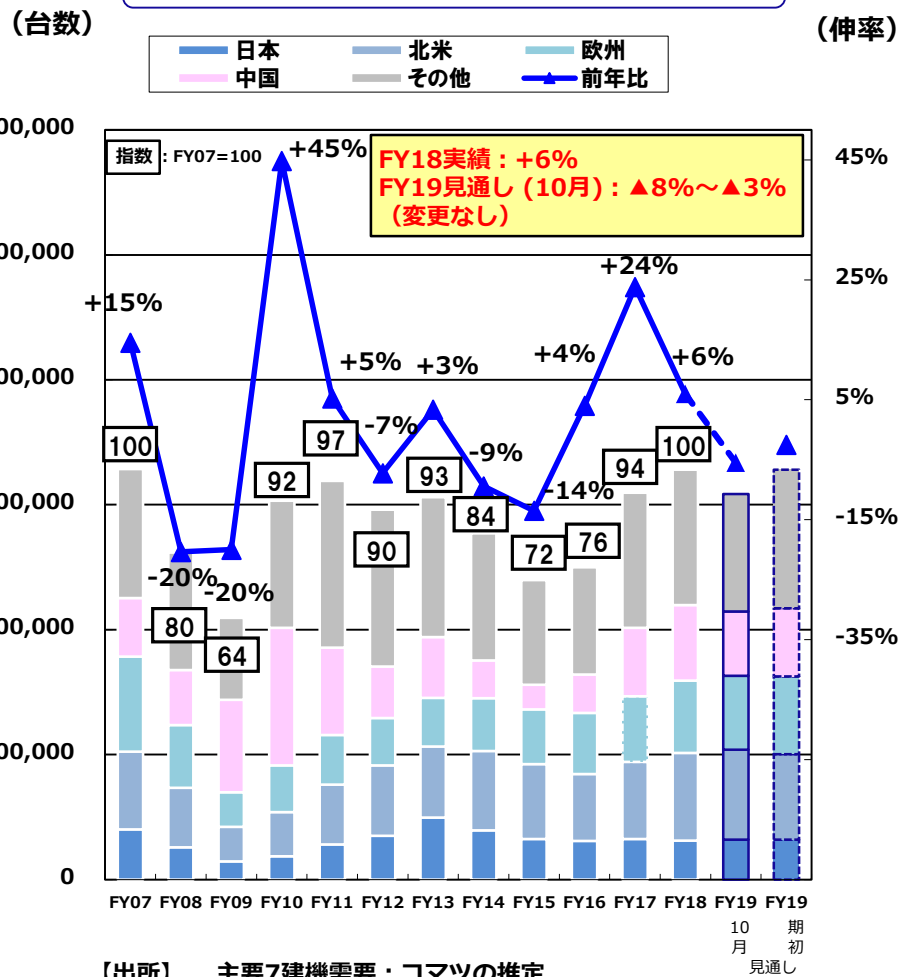
Ⅱ. 2019年度の見通し

- ・ 年間の業績見通しは前回の2019年度見通し（10月）より変更なし。

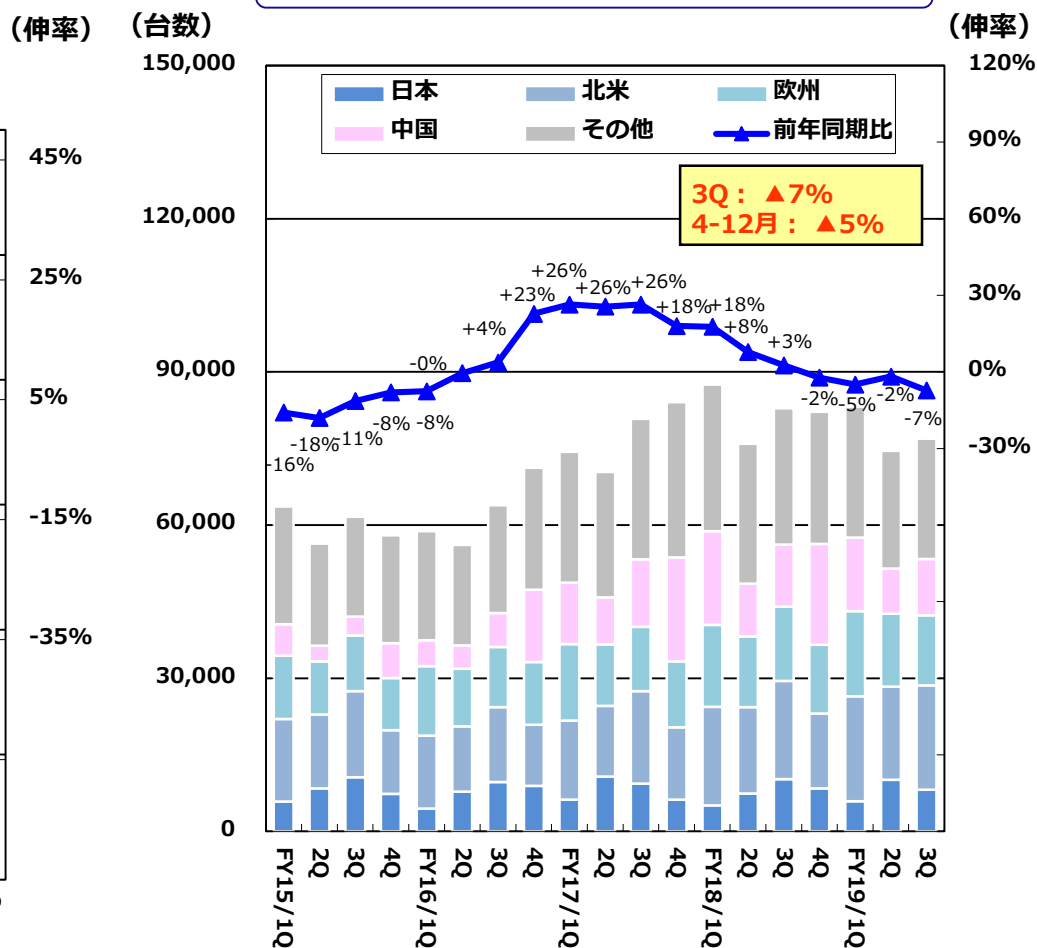
金額単位：億円	2018年度 (A) ¥110.6/USD ¥128.5/EUR ¥16.5/RMB	2019年度 見通し(10月) (B) ¥104.5/USD ¥116.3/EUR ¥14.9/RMB	2019年度 見通し(期初) (C) ¥105.0/USD ¥119.0/EUR ¥15.6/RMB	前年比(B-A)	
				増減	増減率
連結売上高	27,252	24,720	26,170	▲2,532	▲9.3%
セグメント利益	3,993	2,780	3,420	▲1,213	▲30.4%
その他の営業収益(▲費用)	▲15	10	▲51	+25	-
営業利益	3,978	2,790	3,370	▲1,188	▲29.9%
売上高営業利益率	14.6%	11.3%	12.9%	▲3.3 [※] 点	-
その他の収益(▲費用)	▲203	▲220	▲200	▲16	-
税引前純利益	3,774	2,570	3,170	▲1,204	▲31.9%
当社株主に帰属する当期純利益	2,564	1,800	2,150	▲764	▲29.8%
ROE	14.7%	10.2%	11.8%	▲4.5 [※] 点	
1株当たり配当金(円)	110円	110円	110円	±0円	
連結配当性向	40.5%	57.7%	48.3%		

- ・ 2019年第3四半期の需要は、前年同期比▲7%の減少。
- ・ 北米での需要は堅調な一方、他の主要地域での需要が減少。
- ・ 年間の需要は10月見通しから変更なし。

主要7建機 年度別需要推移

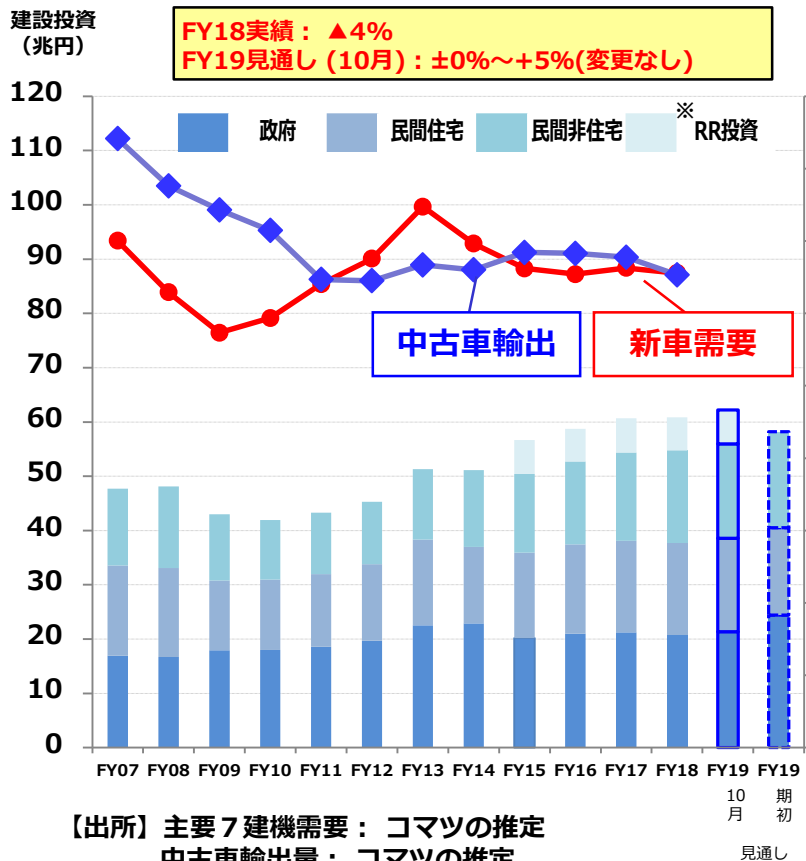


主要7建機 四半期別需要推移



- ・ 2019年第3四半期の需要は、前年同期比▲20%の減少。
- ・ 昨年10月の台風19号によるサプライヤーの被災による影響、消費税増税前の駆け込み需要の反動減等により、需要が減少。
- ・ 年間の需要は10月見通しから変更なし。

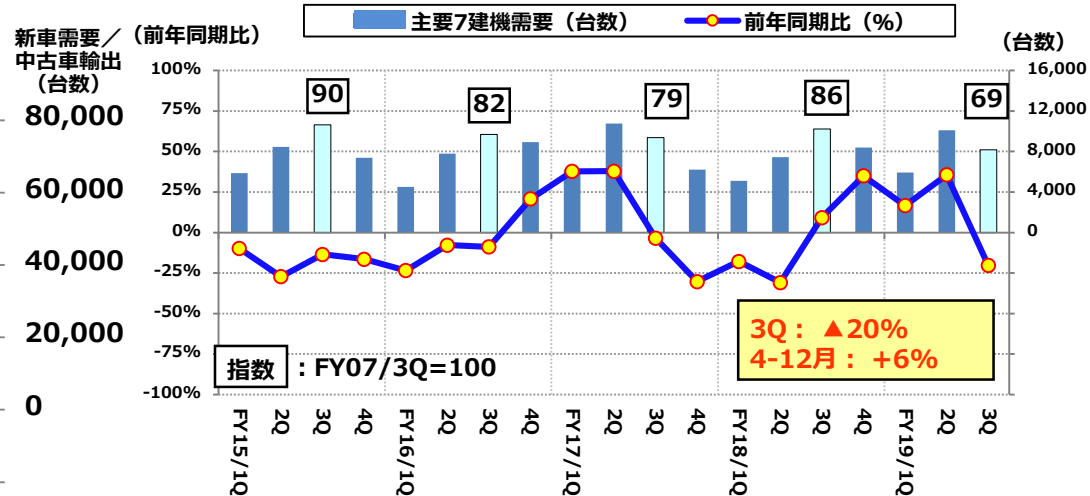
新車需要（主要7建機）と建設投資



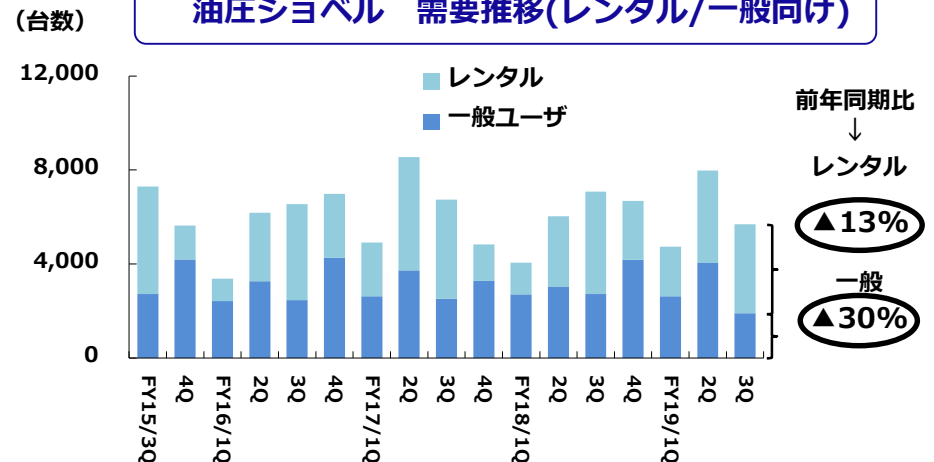
【出所】 主要7建機需要：コマツの推定
中古車輸出量：コマツの推定
建設投資：国土交通省／建設経済研究所

※ 2019年9月より建築物リフォーム・リニューアル投資 (RR投資) の集計が追加された、15年まで遡及表示。

主要7建機 四半期別需要推移

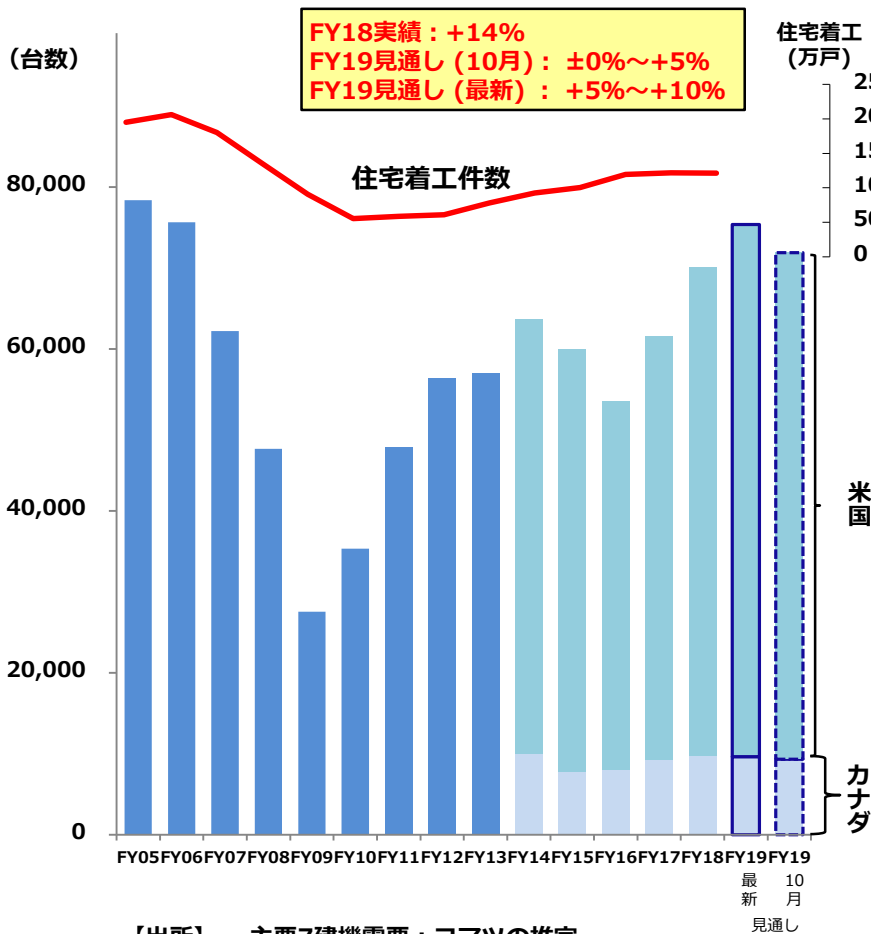


油圧ショベル 需要推移(レンタル/一般向け)

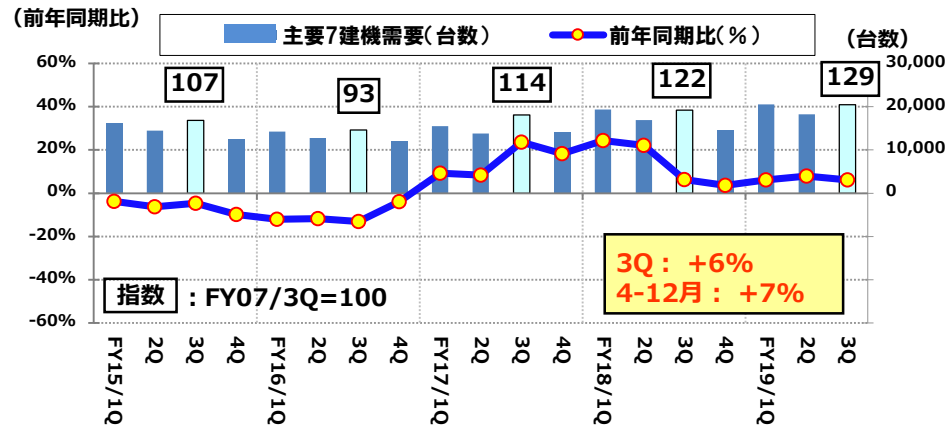


- ・2019年第3四半期の需要は、前年同期比+6%の増加。
- ・一般建機は建設・レンタル向け等が好調に推移し需要は11四半期連続の増加。
- ・年間の需要見通しは、+5%~+10%へ見直し。

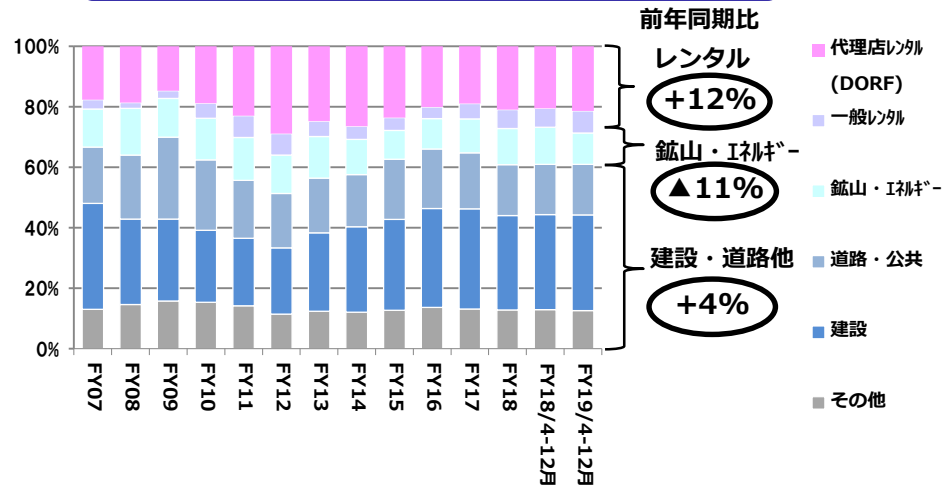
主要7建機 需要推移と住宅着工件数



主要7建機 四半期需要推移

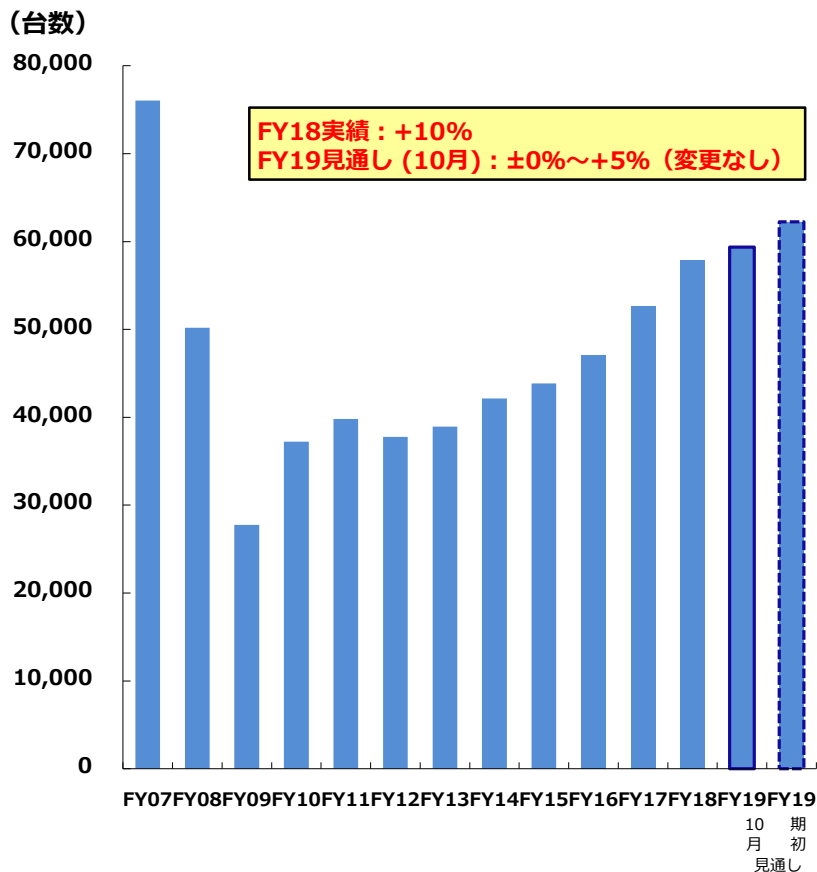


セグメント別需要構成比(台数ベース)



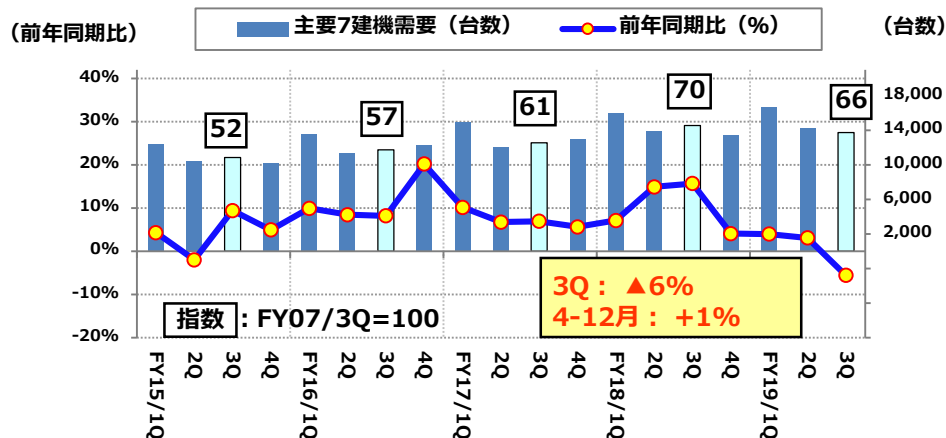
- ・ 2019年第3四半期の需要は、前年同期比▲6%の減少。
- ・ 主要市場であるドイツ、フランスは底堅いものの、Brexitによる景気の不透明感等により、3Qの需要はマイナス。
- ・ 年間の需要は10月見通しから変更なし。

主要7建機 年度別需要推移

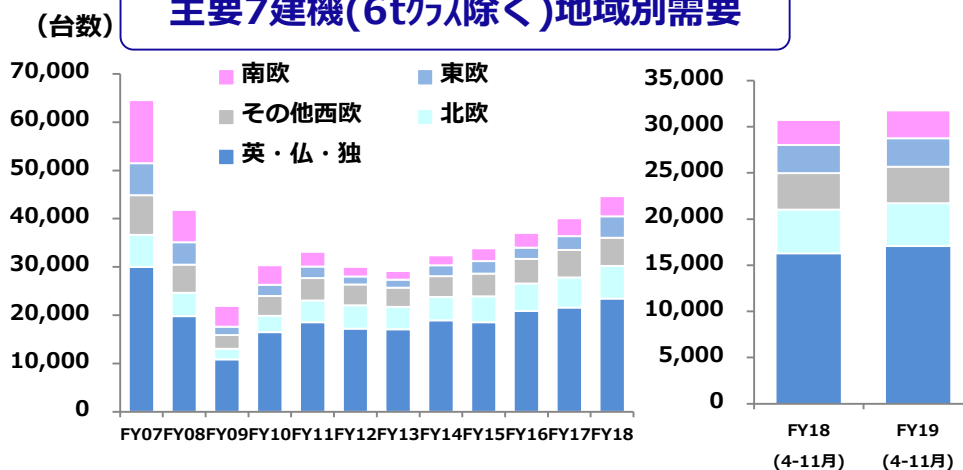


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移

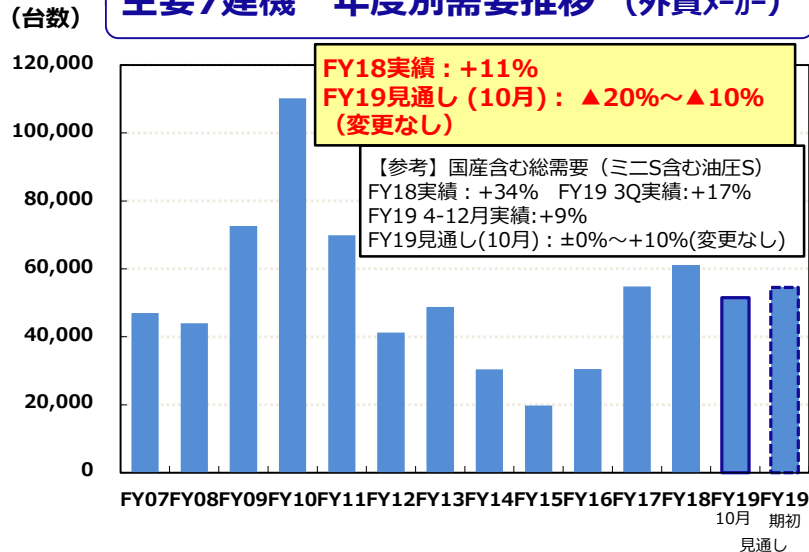


主要7建機(6クラス除く)地域別需要

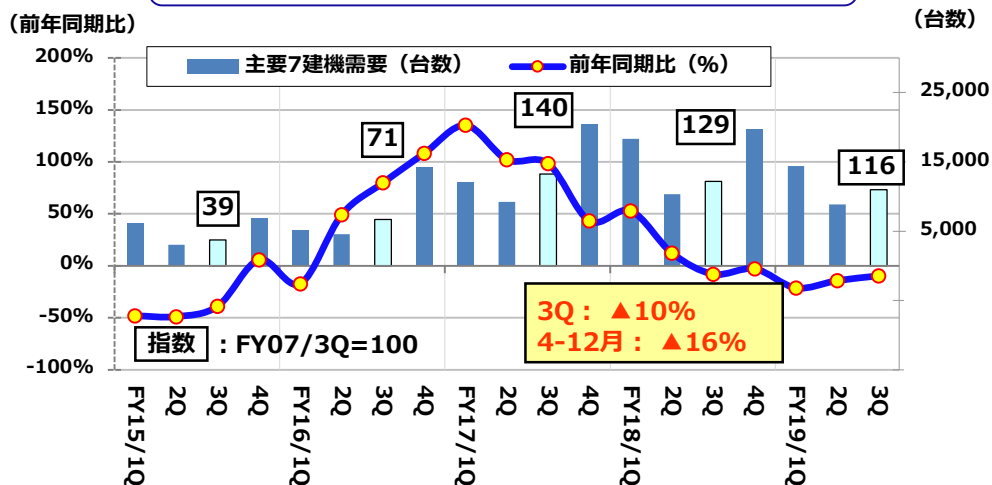


- ・ 2019年第3四半期の需要は、前年同期比▲10%の減少。
- ・ 国産メーカー比率の伸長や、米中貿易摩擦による経済の不透明感が継続する中、一般建機需要が減少。
- ・ 年間の需要は10月見通しから変更なし。

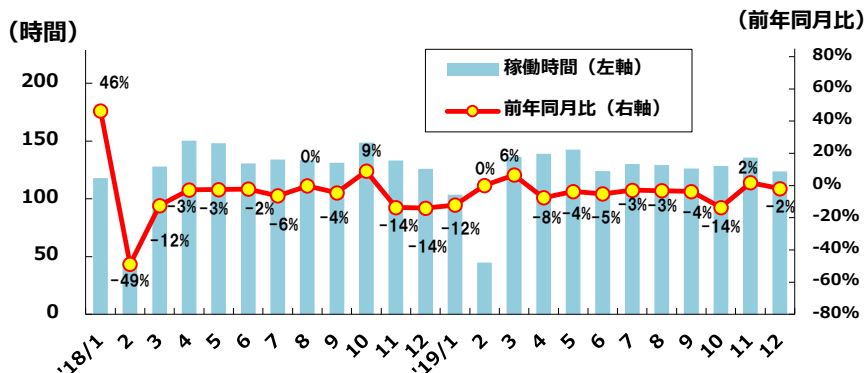
主要7建機 年度別需要推移 (外資メカ)



主要7建機 四半期需要推移 (外資メカ)

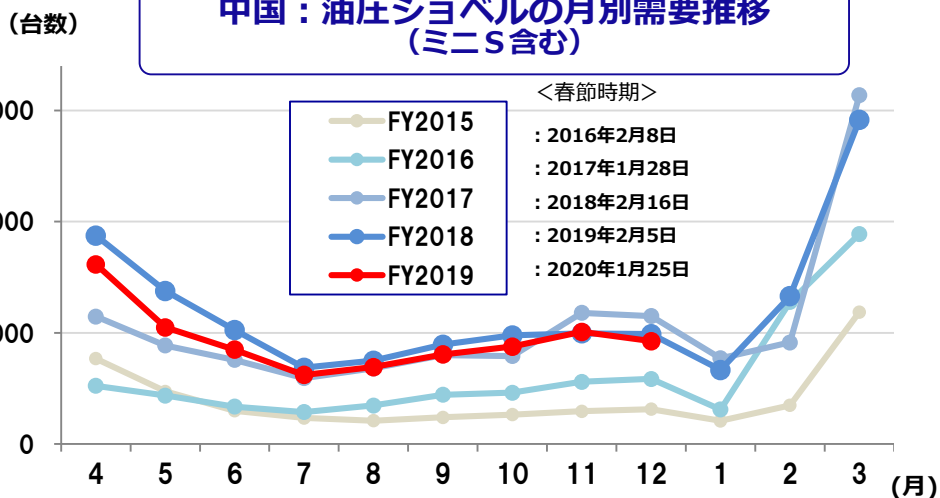


KOMTRAX(中国) 月平均稼働時間推移



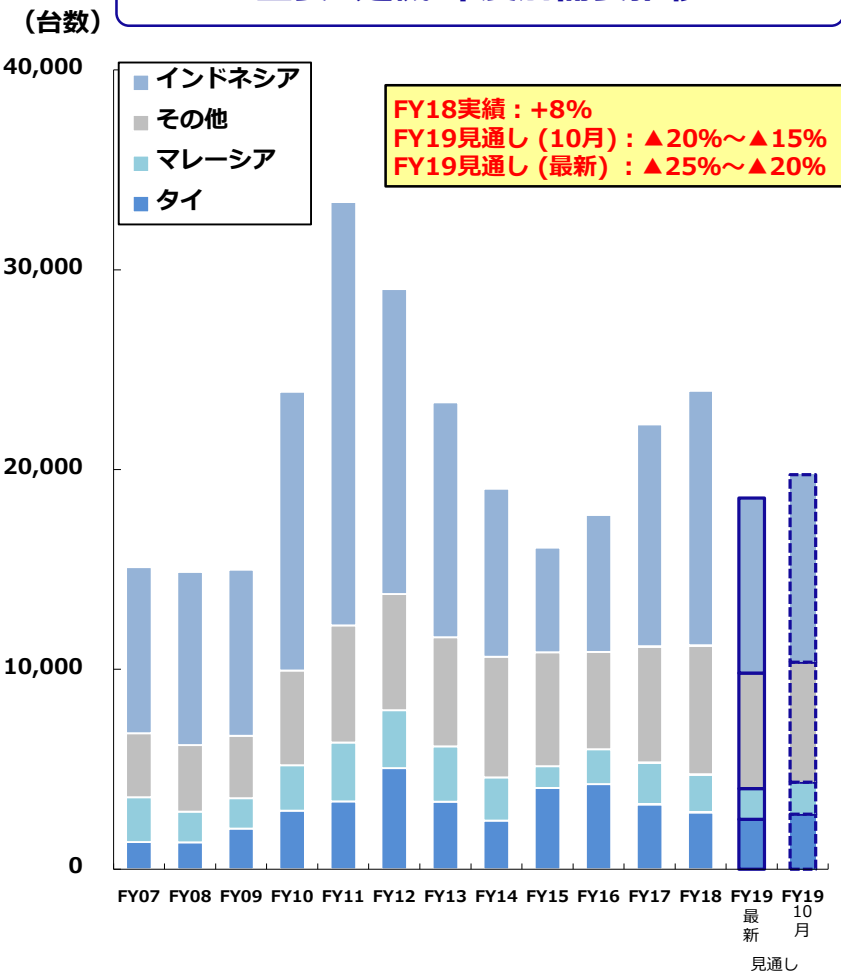
【出所】 主要7建機・油圧ショベル需要：コマツの推定

中国：油圧ショベルの月別需要推移 (ミニS含む)

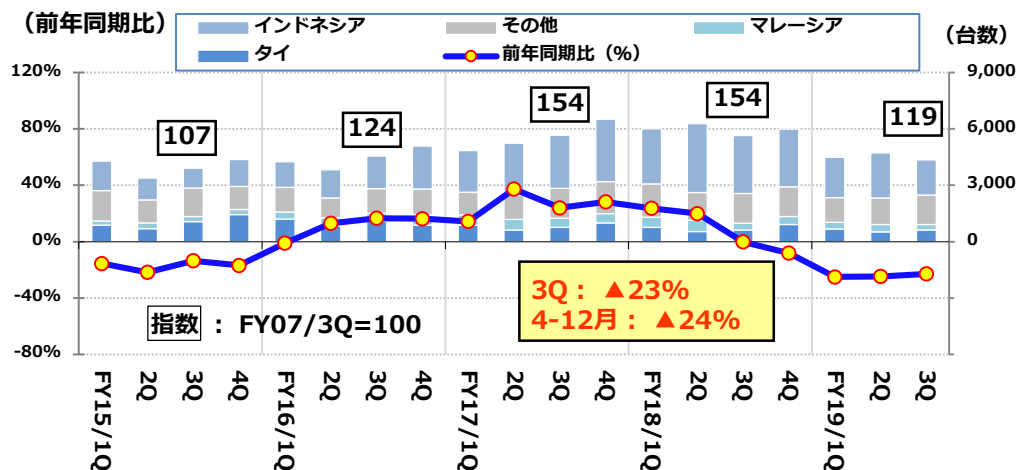


- ・ 2019年第3四半期の需要は、前年同期比▲23%の減少。
- ・ 最大市場のインドネシアは大統領選挙後のインフラ投資に大きな変化がないことや、燃料炭の価格低迷により建設・鉱山機械需要が減少。
- ・ 年間の需要見通しは、▲25%～▲20%へ見直し。

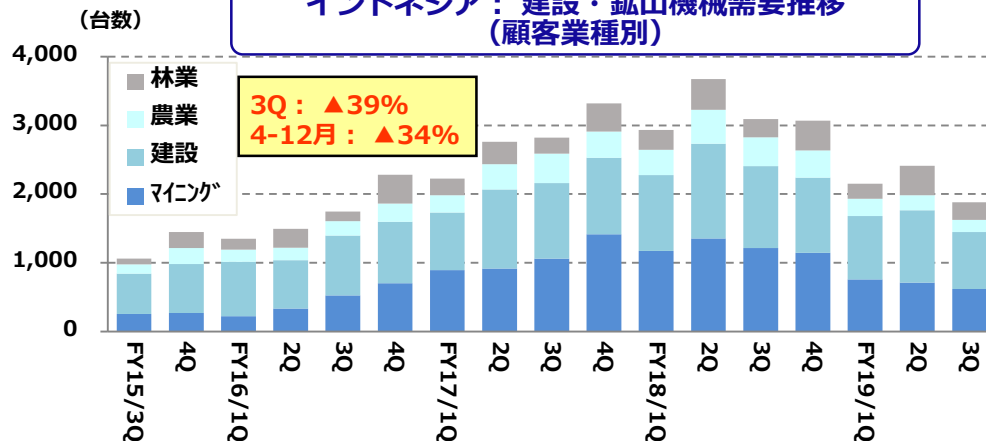
主要7建機 年度別需要推移



主要7建機 四半期需要推移



インドネシア：建設・鉱山機械需要推移 (顧客業種別)

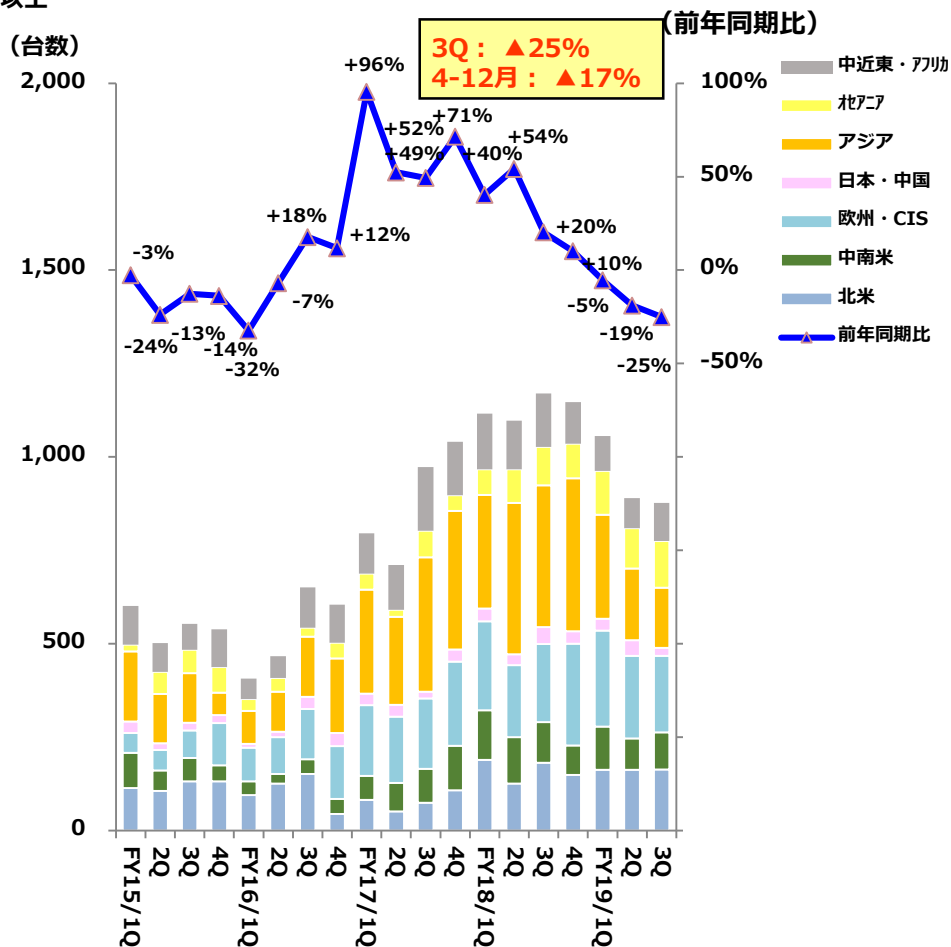
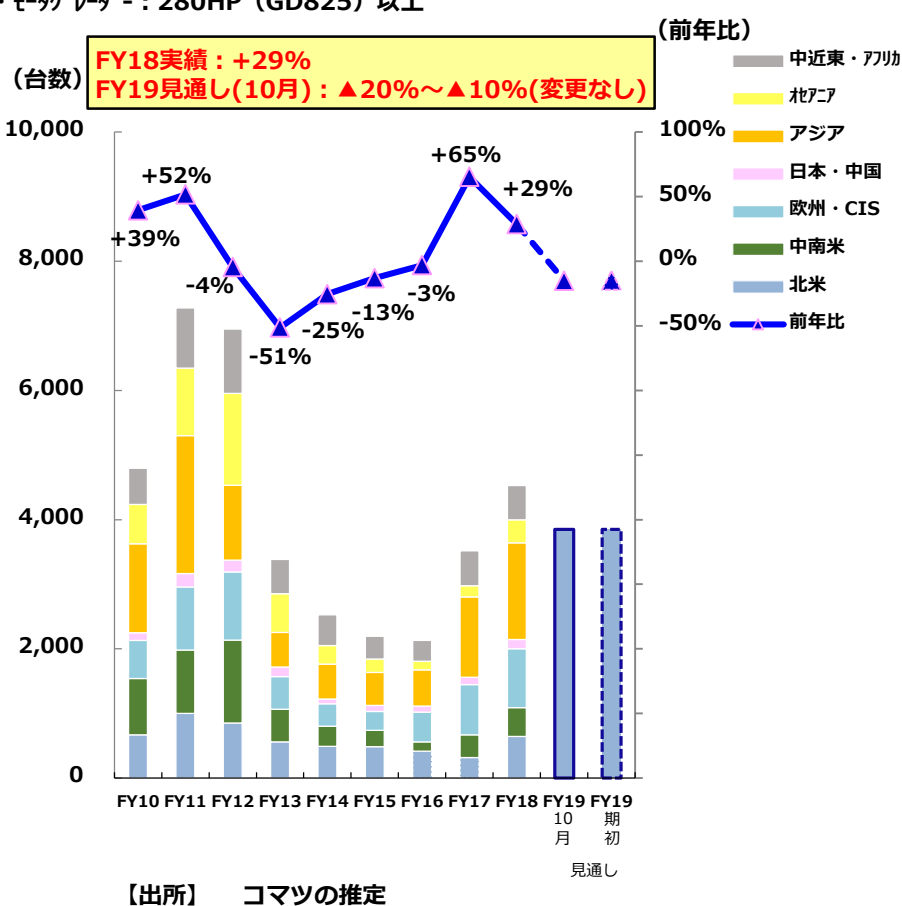


- ・2019年第3四半期の需要は、前年同期比▲25%の減少。
- ・アジア、特にインドネシアにおいて需要が減少。
- ・年間の需要は10月見通しから変更なし。

鉱山機械 年度別需要推移

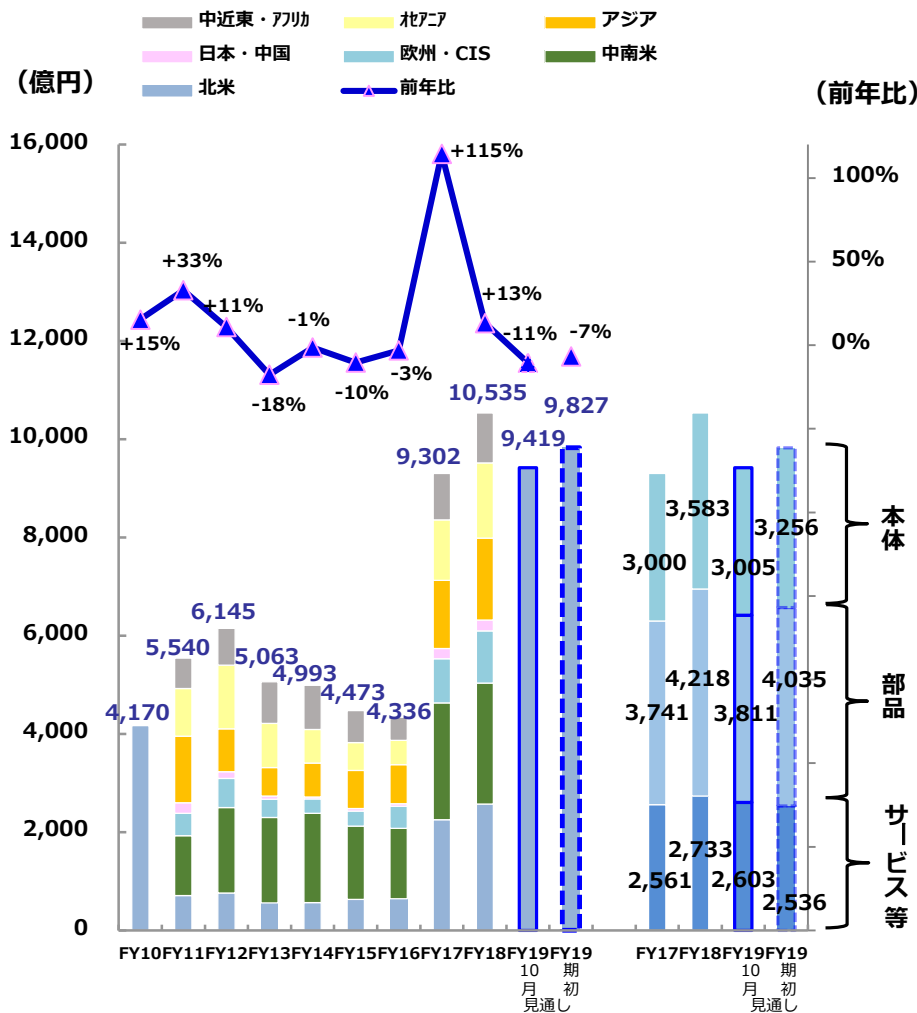
鉱山機械 四半期別需要推移

- ・ダンプトラック：75 t (HD785) 以上 ・アルトバーガー：525HP (D375) 以上
- ・エクスカベータ：200 t (PC2000) 以上 ・ホイールローダー(機械駆動)：810HP (WA800) 以上
- ・モーターグレーダー：280HP (GD825) 以上

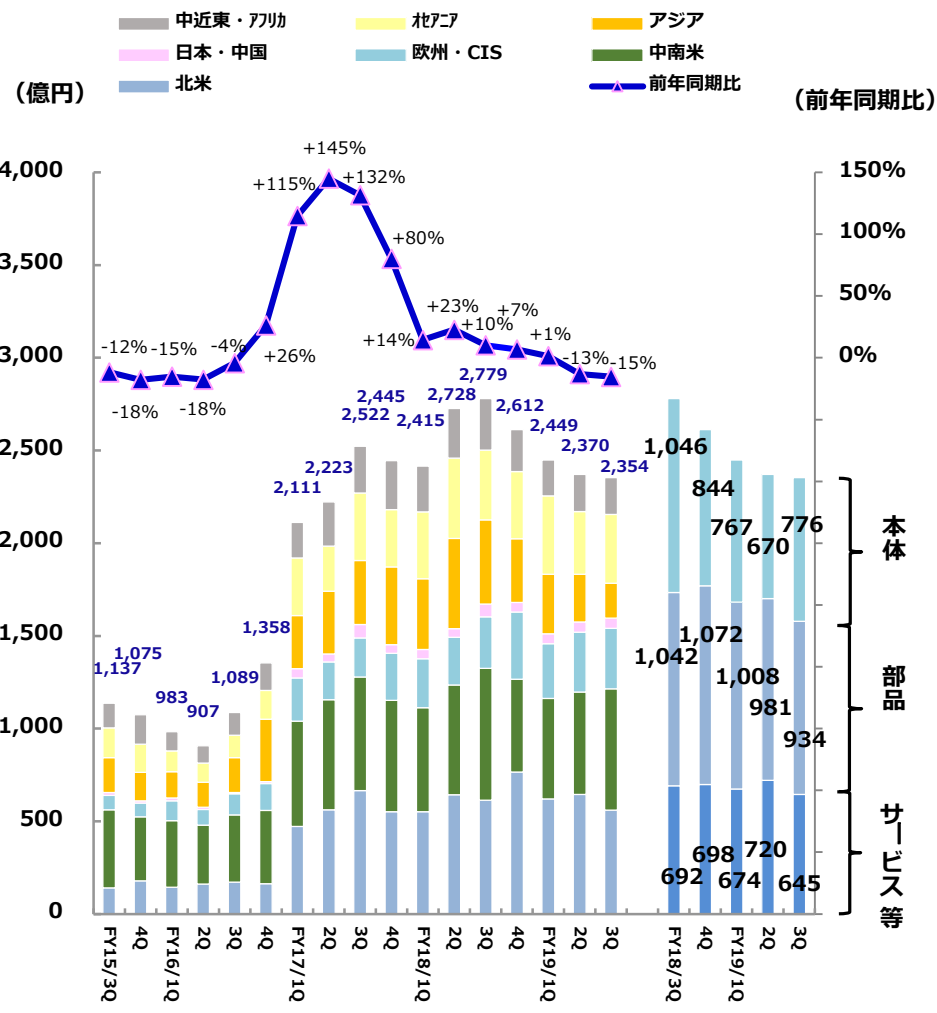


- ・2019年度第3四半期の売上高は、前年同期比▲15%減少の2,354億円。
- ・主にアジア・アフリカ・中南米等で売上が減少。

鉱山機械 年度別売上高 (部品・サービス等含む)

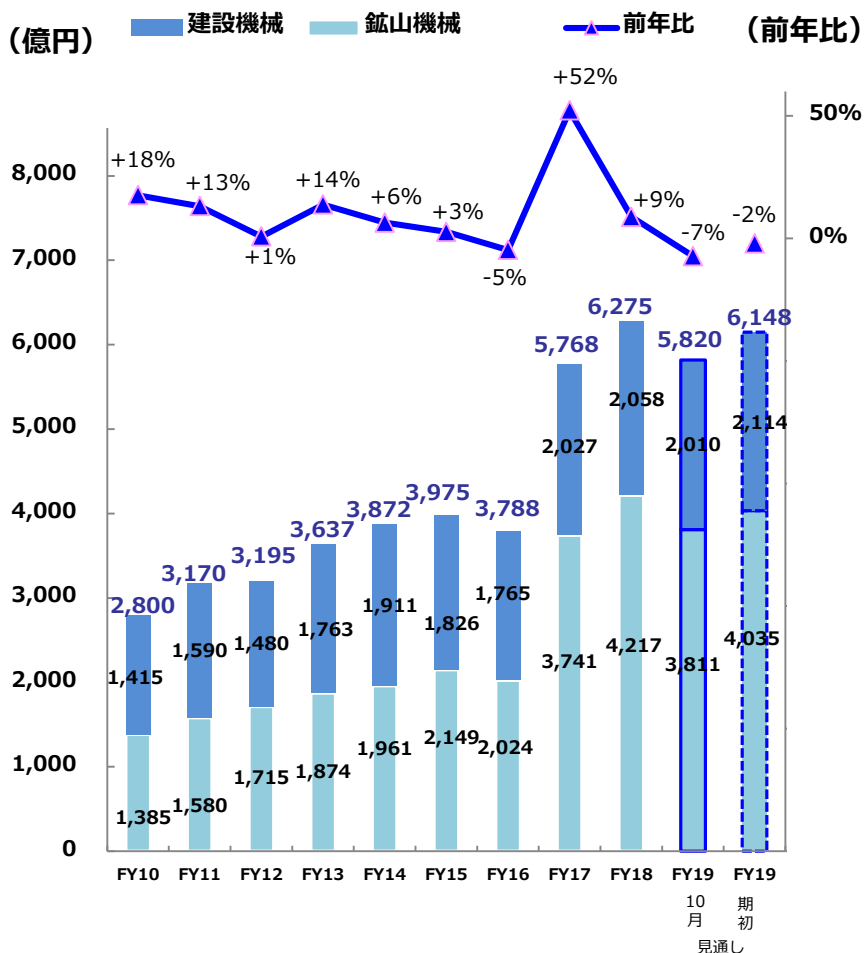


鉱山機械 四半期別売上高 (部品・サービス等含む)

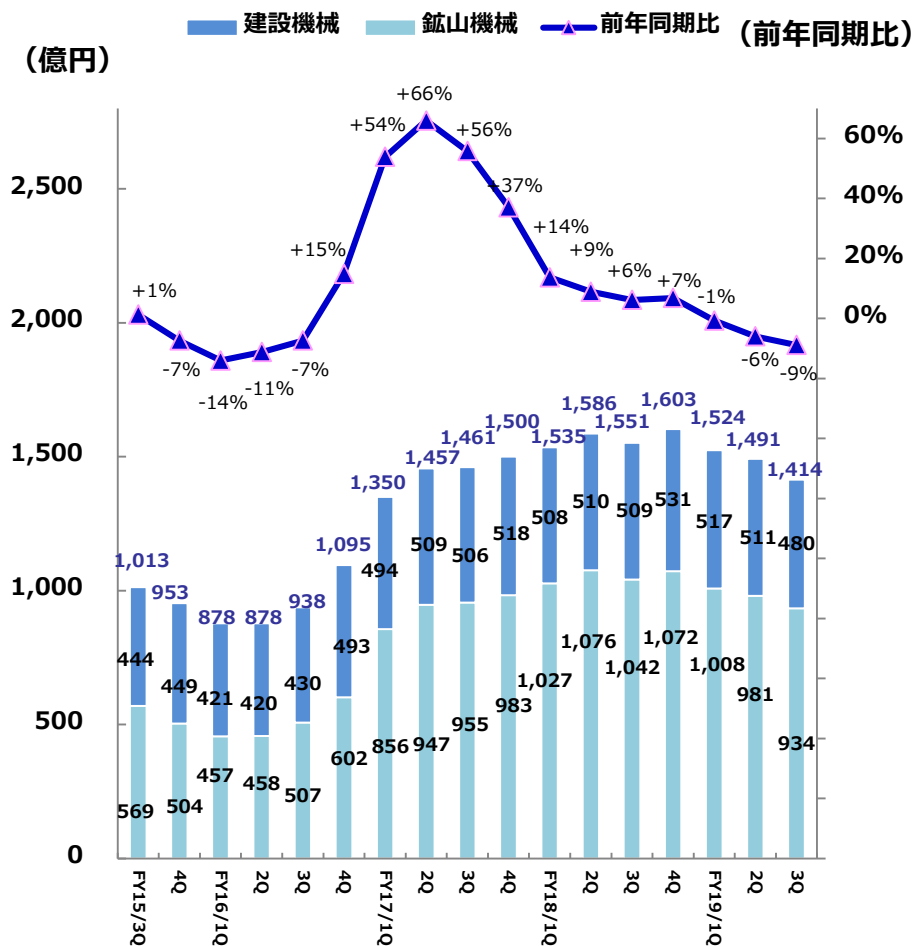


- ・2019年度第3四半期の部品売上高は、前年同期比▲9%減の1,414億円。
- ・鉱山機械の部品等で売上高は減少。

部品 年度別売上高



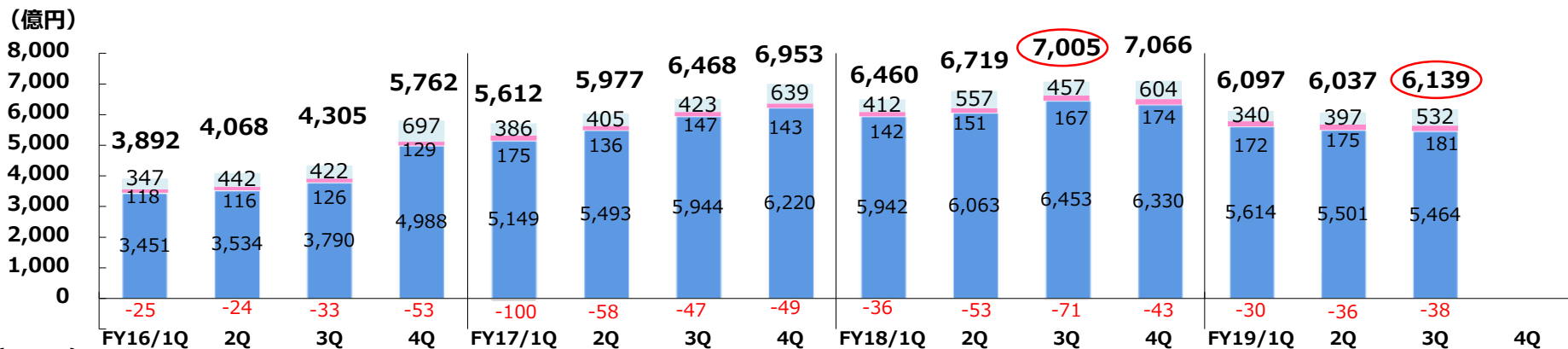
部品 四半期別売上高



参考資料

連結売上高 (FY16～)

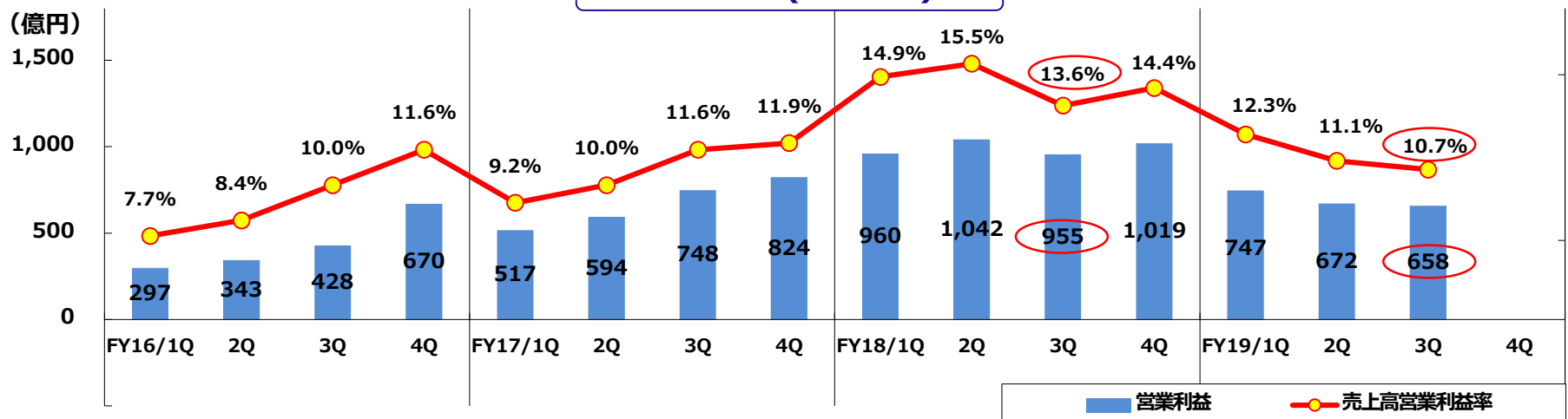
産業機械他 リテールファイナンス 建設機械・車両 消去

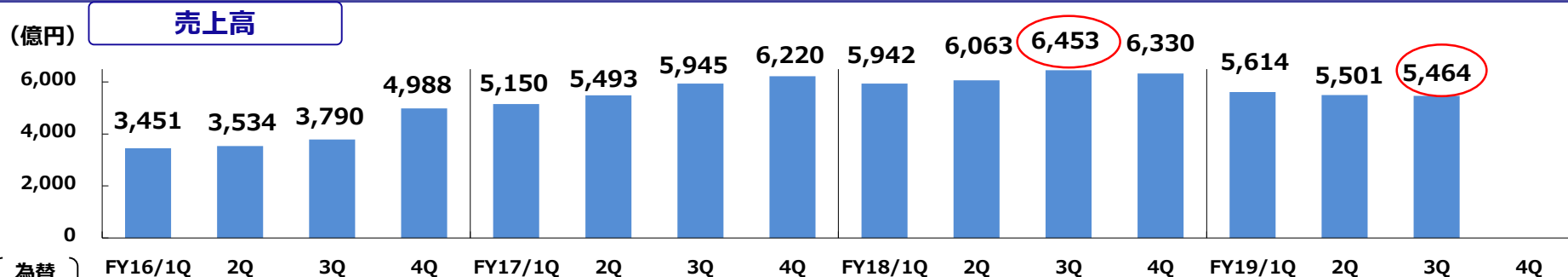


為替レート

	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q
¥/USD	109.8	102.9	106.9	114.7	111.2	110.9	113.0	109.6	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	
¥/EUR	124.3	114.6	116.7	121.4	121.6	129.9	133.2	133.7	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	
¥/RMB	16.9	15.4	15.7	16.7	16.3	16.6	17.0	17.2	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	

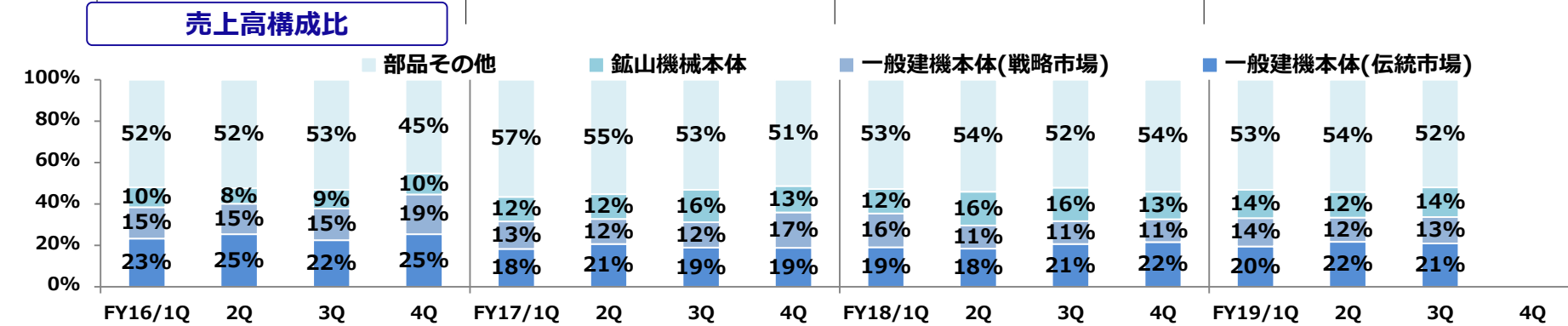
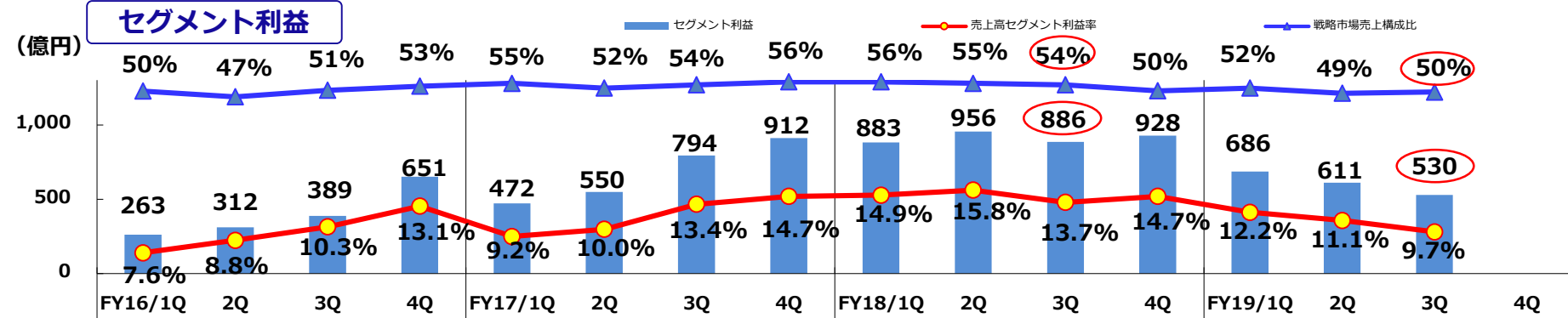
営業利益 (FY16～)



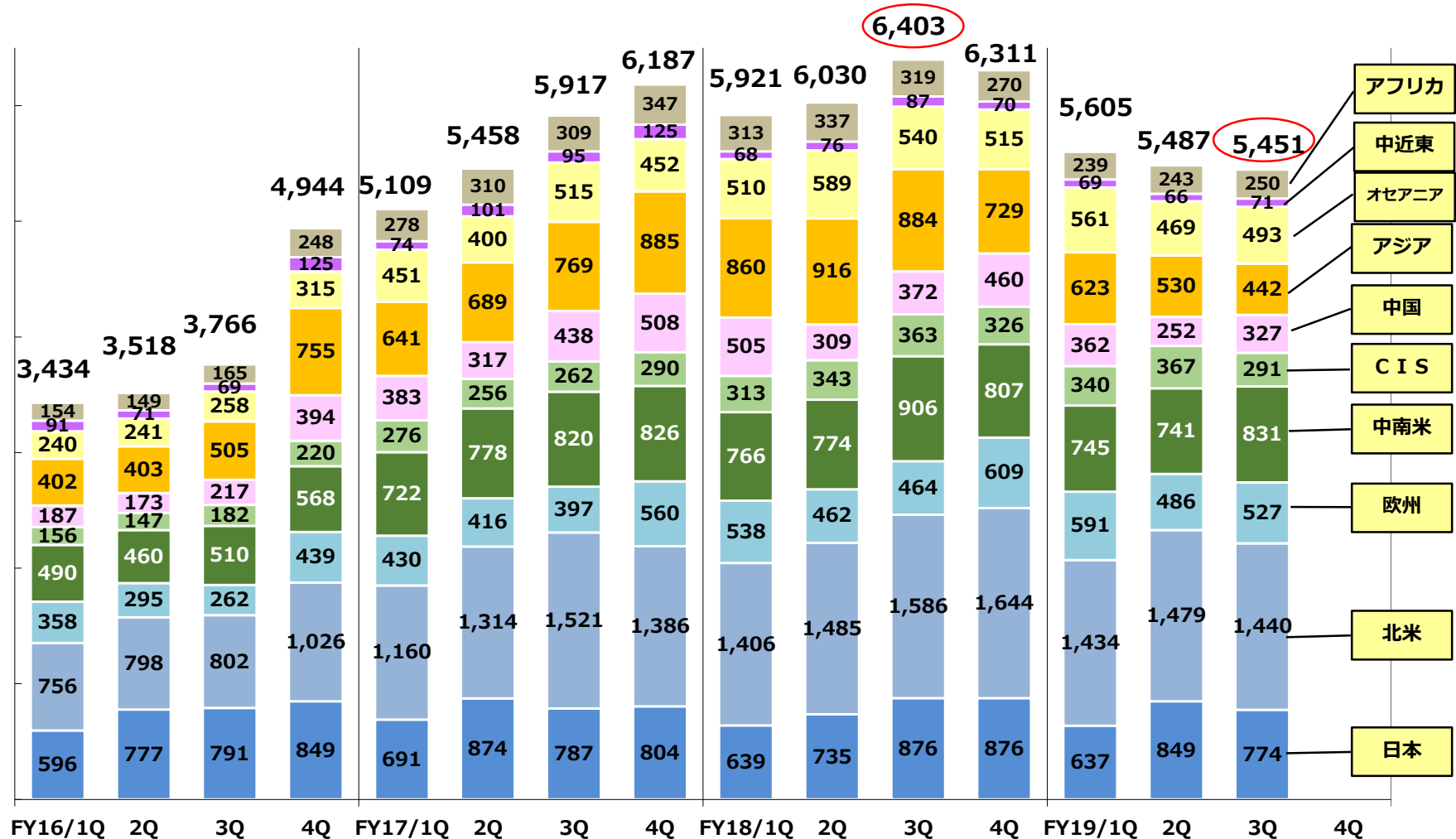


為替
レート

	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q
¥/USD	109.8	102.9	106.9	114.7	111.2	110.9	113.0	109.6	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	
¥/EUR	124.3	114.6	116.7	121.4	121.6	129.9	133.2	133.7	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	
¥/RMB	16.9	15.4	15.7	16.7	16.3	16.6	17.0	17.2	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	



(億円)

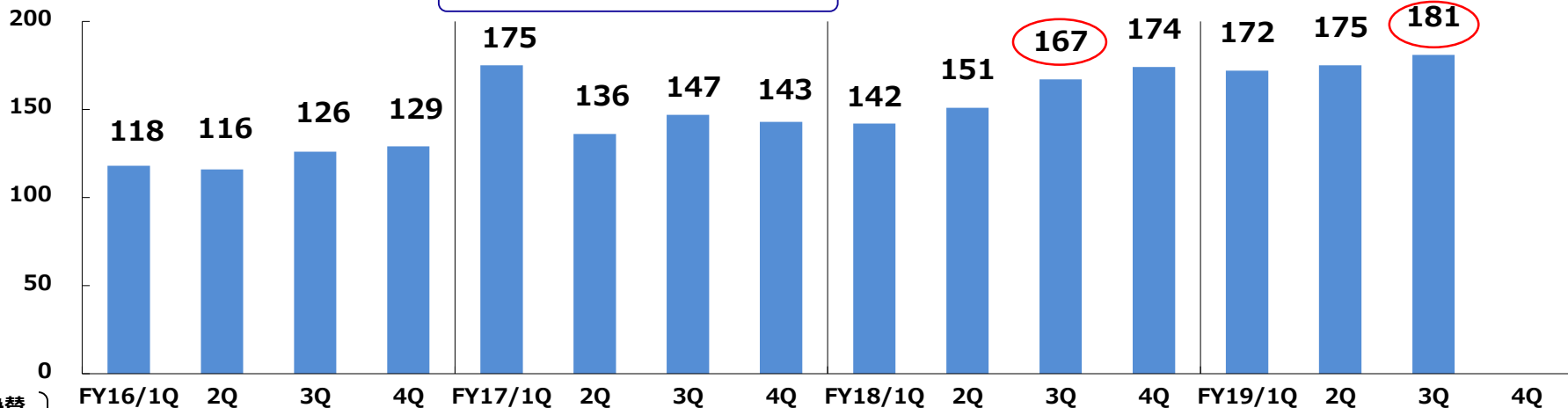


為替
レート

	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q
¥/USD	109.8	102.9	106.9	114.7	111.2	110.9	113.0	109.6	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	
¥/EUR	124.3	114.6	116.7	121.4	121.6	129.9	133.2	133.7	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	
¥/RMB	16.9	15.4	15.7	16.7	16.3	16.6	17.0	17.2	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	

(億円)

売上高

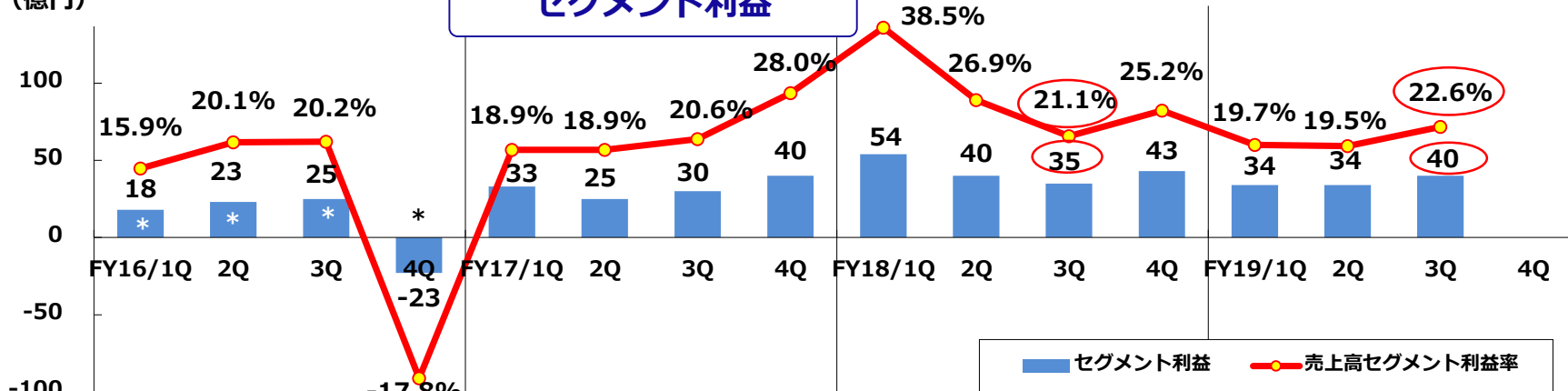


〔為替レート〕

	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q
¥/USD	109.8	102.9	106.9	114.7	111.2	110.9	113.0	109.6	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	-
¥/EUR	124.3	114.6	116.7	121.4	121.6	129.9	133.2	133.7	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	-
¥/RMB	16.9	15.4	15.7	16.7	16.3	16.6	17.0	17.2	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	-

(億円)

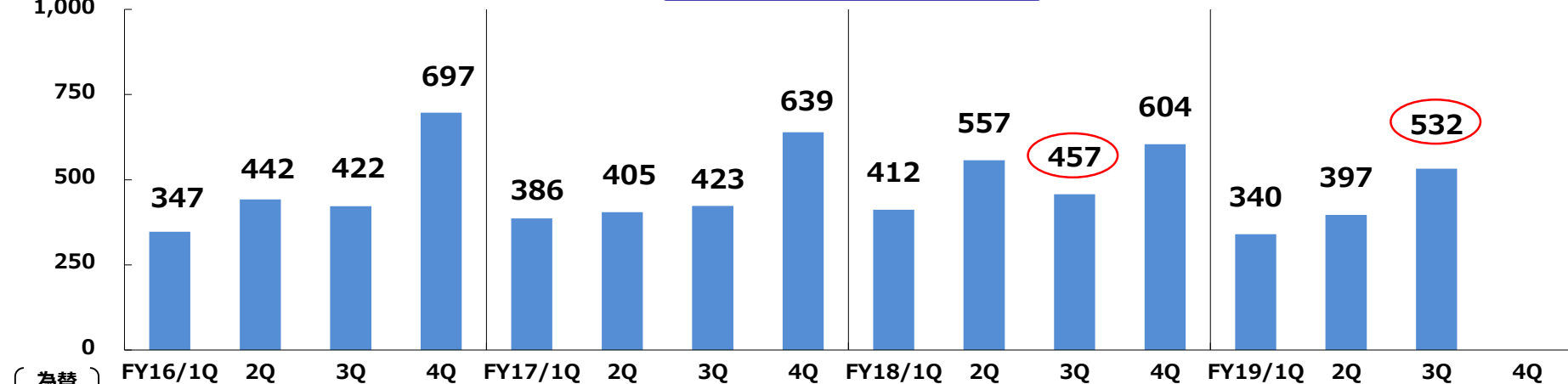
セグメント利益



* 中国の債権に係る引当金の計上を含む (FY16/1Q:▲10億円、2Q:▲5億円、3Q:▲2億円、4Q:▲49億円)

(億円)
1,000

売上高



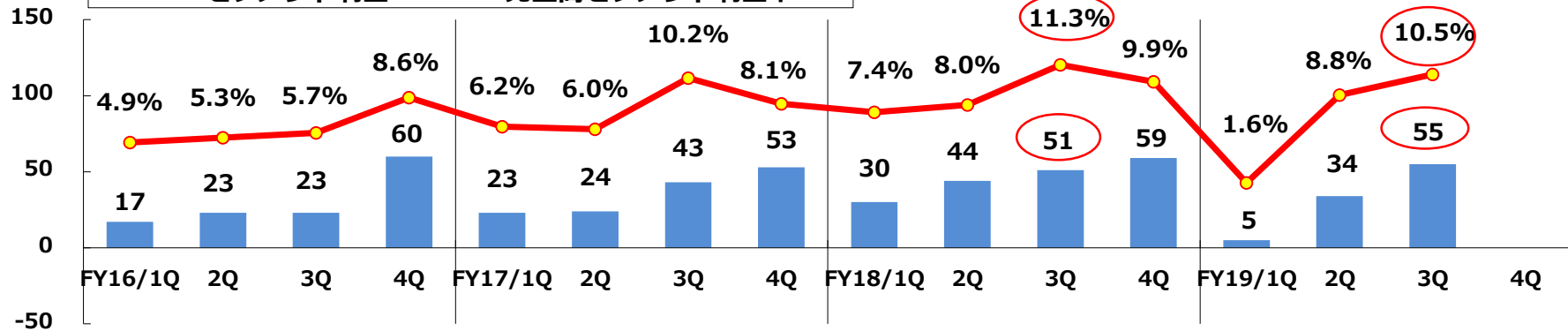
(為替
レート)

	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q
¥/USD	109.8	102.9	106.9	114.7	111.2	110.9	113.0	109.6	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	-
¥/EUR	124.3	114.6	116.7	121.4	121.6	129.9	133.2	133.7	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	-
¥/RMB	16.9	15.4	15.7	16.7	16.3	16.6	17.0	17.2	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	-

セグメント利益

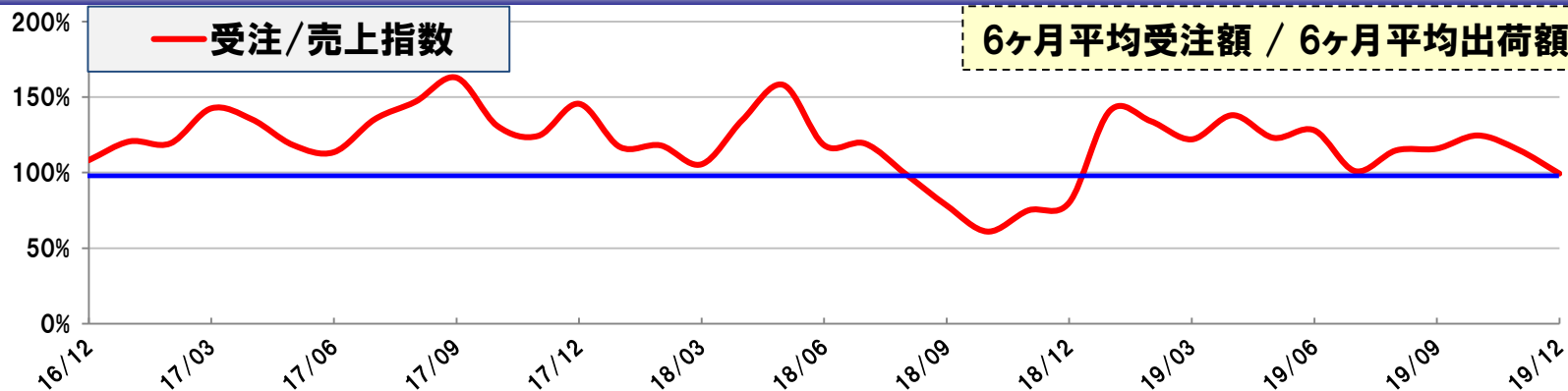
(億円)

■ セグメント利益 ● 売上高セグメント利益率



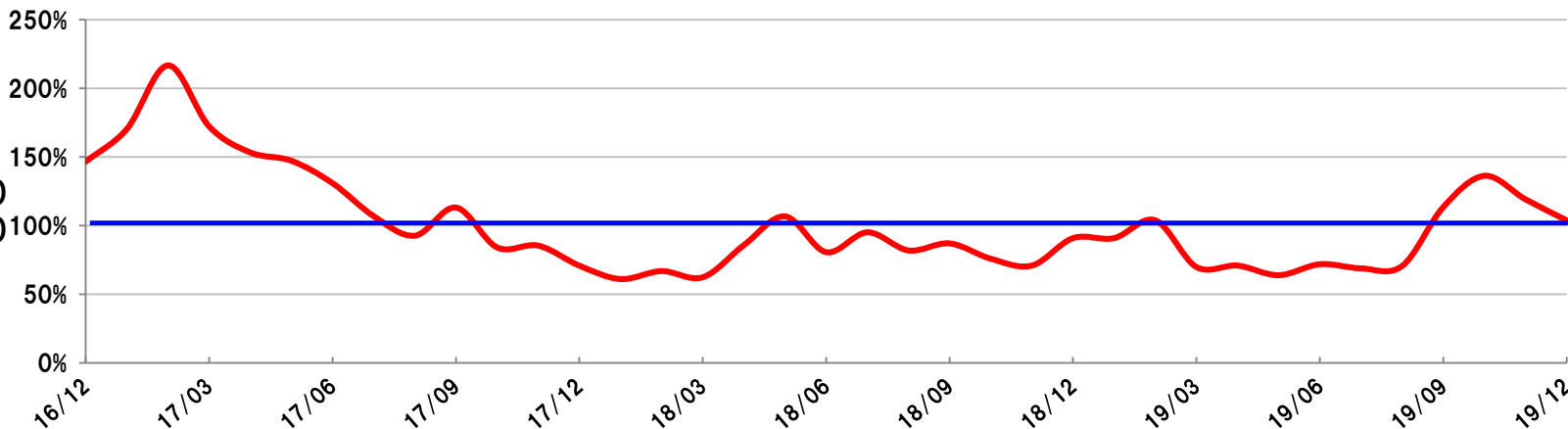
**コマツアメリカ
(マイニング)**

730E, 830E
860E
930E, 960E
980E



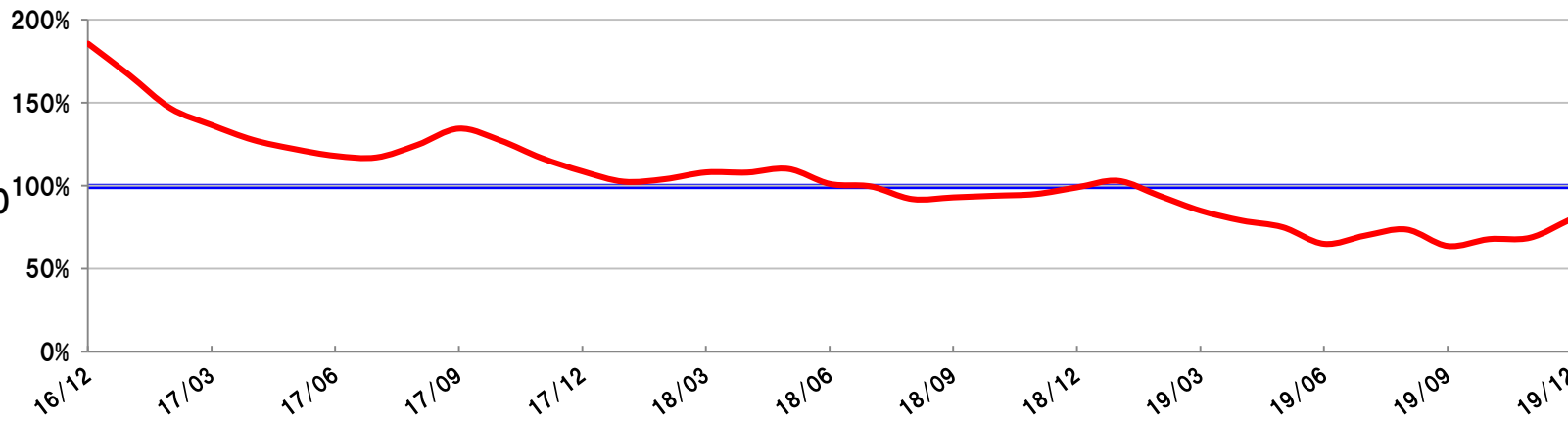
**コマツドイツ
(マイニング)**

PC3000, PC4000
PC5500, PC7000
PC8000



**コマツ単独
(マイニング)**

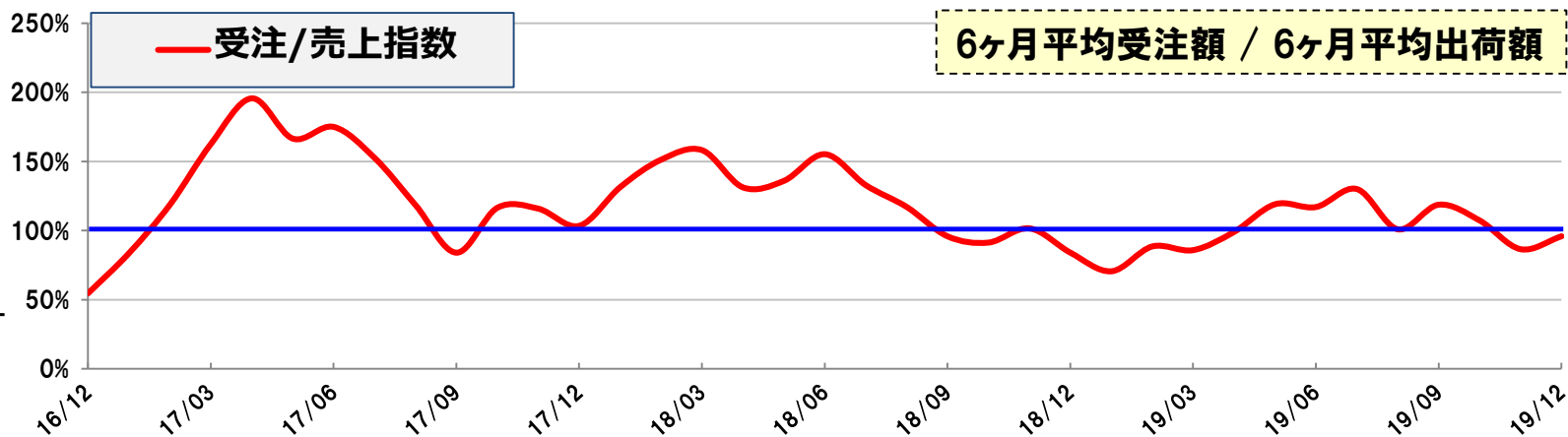
HD785, HD1500
PC2000, PC3000
PC4000
WA800 up
D375A up
GD825A up



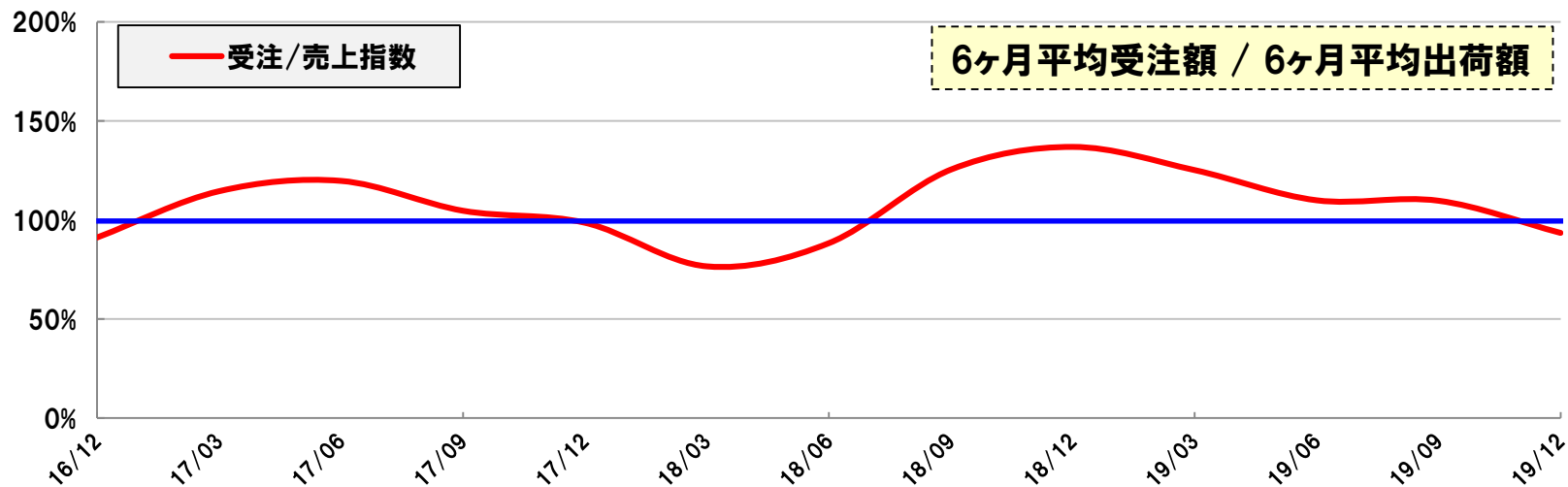
**KMC
(マイニング)**

<露天掘り>
ロープショベル
ブラストホールドリル
ドラグライン他

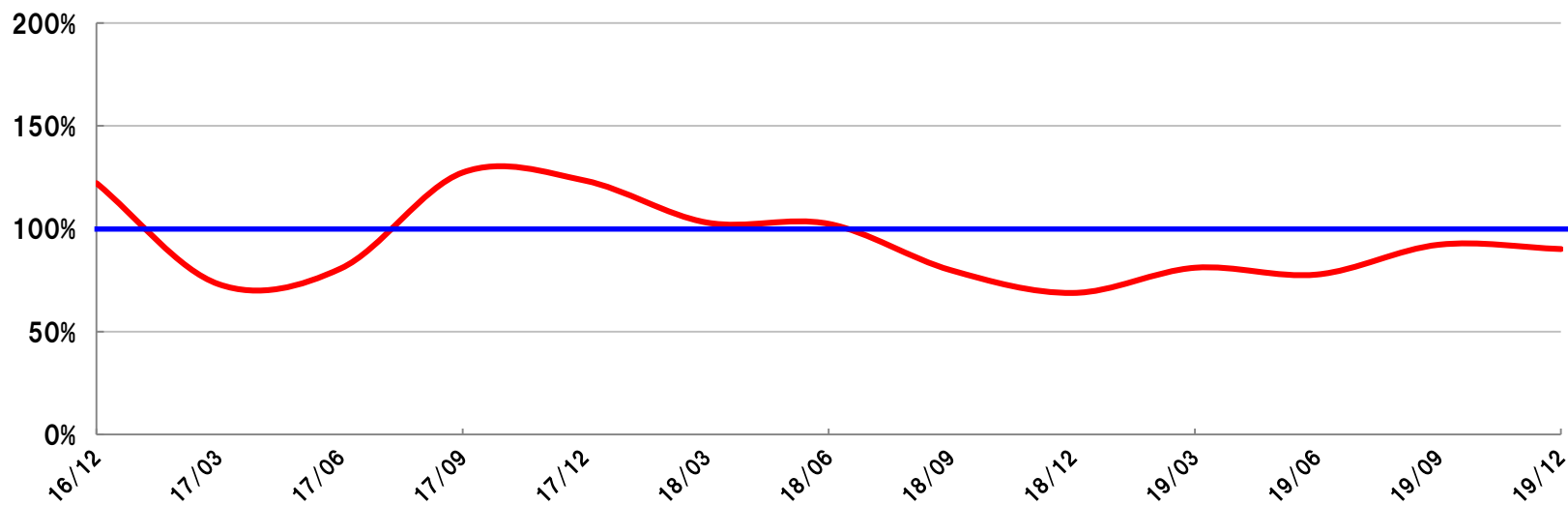
<坑内掘り>
コンティニューアスマイナ
シアラー
ロードホールダンプ
ドリルジャンボ他



コマツ産機



コマツNTC





【Vale社カラジャス鉄鉱山(ブラジル北部)への
導入1号機となる超大型AHSダンプトラック930E】



【カラジャス鉄鉱山近郊に新設したAHSトレーニングセンタ】

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。